

# 第2次雲南市情報化計画

令和2年度～令和6年度

令和2年3月



島根県雲南市

## 目次

第1章	計画の概要	1
第2章	情報化の動向	2
第3章	雲南市における情報化の現状と課題	4
第4章	第2次雲南市情報化計画の方向性	12
第5章	情報化に向けた取り組み	15

## 資料

	情報化に関する市民アンケート調査結果	20
	情報化に関する高校生アンケート調査結果	39
	用語解説	47

## 第2次雲南市情報化計画

### 第1章 計画の概要

#### 1. 計画の目的

ITをめぐる技術進歩は我々の想像を超えるスピードで進展しており、特にスマートフォンが登場してからネットワークインフラの発展による大量のデータ流通と相まって、コミュニケーションの在り方をはじめ、仕事、観光、医療・介護などのあらゆる場面でITが大きな影響を与えてきました。さらに、令和2年以降、第5世代移動通信システムの運用が始まり、社会全体の利便性の向上に寄与すると期待されています。

こうした状況は、今後もますます加速することから、雲南市の活性化や行政の効率化を図る上でも、ICTの利活用が重要であり、第2次雲南市総合計画で掲げた基本理念「生命（いのち）と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」～「課題先進地」から「課題解決先進地」へ～の実現に向け、情報化施策の視点から第2次雲南市情報化計画を策定するものです。

#### 2. 計画の位置付け

本計画は、国のICT政策や県の情報化施策・指針等を踏まえ、ICTの進展に的確に対応するため、行政情報化及び地域情報化、そして電子自治体を推進する方向を定める計画として位置付けるものです。

また、本計画は、「官民データ活用推進基本法（平成28年法律第103号）」第9条第3項において市町村が策定に努めることとされている「市町村官民データ活用推進計画」としての位置付けを併せ持つ計画とします。

#### 3. 計画の整合性の確保

この計画は、全庁的な総合計画として策定するものであり、「雲南市総合計画」等と連携、調整を図るものとします。

#### 4. 計画の期間

計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とします。

ただし、計画策定後においても、国・県の指針、市民ニーズ、社会情勢の変化、ICTの革新や雲南市の情報化推進の実施状況等を踏まえながら、必要に応じて見直します。

## 第2章 情報化の動向

### 1. 国における情報化政策

1990年代に入り、コンピュータとインターネットを中心としたICTの発達と経済活動への投資（ICT投資）が加速化し、経済の情報化（デジタル経済）を生み出し、経済成長にもつながっていった。

2000年代になると、ネットワークを経由した新しいコンピュータの利用形態としてクラウドコンピューティングという言葉も登場した。クラウド上に集まる莫大な情報（ビッグデータ）を経済活動につなげるデジタル経済も進化していった。GAF（Google、Amazon、Facebook、Apple）に代表される巨大IT企業はまさにビッグデータによって巨額の利益を獲得してきたのである。

そして現在では、スマートフォンやSNSの活用によって現実（リアル）の空間とバーチャル（インターネット上の仮想空間）が切れ目なくつながり、IoTや次世代の超高速移動通信網である5Gによってさらに膨大な情報がリアルタイムで集積されるようになっている。また、これらのデータをAIを活用することによって分析・予測が行われ、社会課題を解決しようとするスマート社会が現実化しつつある。政府の掲げるSociety 5.0はこのスマート社会をさらに進めることによって社会全体の最適化を目指すものである。Society 5.0はデジタル経済の進化の先にあるものとされ、諸課題が解決された豊かな社会を迎えることができるとともに、国連が掲げるSDGsにも貢献することが期待されている。

しかしながら、デジタル経済の進化は既存のビジネス・サービスを代替し、市場に劇的な変化をもたらすいわゆる「破壊的イノベーション」の側面を持っている。デジタル経済による新しいサービスはGAFのような巨大IT企業に利益を集積させる一方で、既存事業の市場や雇用を奪う可能性もあり、Society 5.0の地域での展開を考えていった際に考慮しなければいけない点である。このような「破壊的イノベーション」の側面に対して、ICTを活用したデジタル経済は省資源・人口減社会におけるビジネスモデルとして注目されており、特に人口減少が顕著であり地域コミュニティの維持が難しくなっている中山間地域などの地方において、地域が抱える課題を解決するツールとしての期待も大きい。例えば、デジタル経済の新しいサービスであるシェアリングエコノミーは、UberやAirbnbなどのIT企業に利益をもたらす一方、地域で未利用の資源・資産、また人材を活用することによって地域コミュニティの再生や地域独自の課題の解決、「破壊的イノベーション」に対する「温もりのあるイノベーション」（内閣官房ICT総合戦略室シェアリングエコノミー促進室）につながる可能性もある。

また、放送サービスの高度化の一環として政府は4K・8K放送を推進している。総務省「4K・8K推進のためのロードマップ」では対象期間を令和7年までとして衛星放送やケーブルテレビを通じての普及が目指されているが、地域において公共的なメディアであるケーブルテレビが災害時の情報伝達手段としての役割を果たすと同時に、ケーブルテレビネットワークの光化（FTTH化）を進め、その強靱化・高度化を図る必要がある。

## 2. 島根県の地域情報化の現状

ICTを活用したデジタル経済を島根県においても「温もりのあるイノベーション」につなげていくためにまず求められるのは情報格差（デジタル・デバイド）への対応である。2000年代に入ってから政府のブロードバンド戦略を中心とした情報ネットワークインフラ整備は確かに進んできたが、これは「民間活力」を中心に進められているため採算性のない地域における情報インフラの格差が島根県においてもまだ課題となっている。これは島根県と都市部との情報インフラの格差だけでなく島根県内の情報インフラ格差がまだ残っていることを示し、そこから生じる経済格差、地域格差が心配される。中山間地域への光ファイバーケーブルの整備による高速インターネット網の拡充や、ケーブルテレビネットワークの光化による4K・8K放送、そして超高速移動通信網である5Gへの対応が求められる。

その上で、現在のICTを代表するスマートフォンやSNS、IoTの普及と、これによって集積されるデータの活用により島根県でもデジタル経済の進化とSociety 5.0を目指した取り組みが可能となる。もちろんデジタル経済を「破壊的イノベーション」ではなく、「温もりのあるイノベーション」へとつなげていく方向性が重要であり、島根県ではこれらの取り組みを「地域課題の解決」という視点からスタートさせる必要がある。例えば、前記のシェアリングエコノミーに関しては、全国のいくつかの地域で「観光振興」、「就業機会の創出」、「地域の移動手段の確保」、「子育てなど女性活躍支援」、「イベント時などにおける需給逼迫の解消」といった地域課題をこの技術とサービスを使って解決しようとする取り組みがみられる。情報インフラの格差解消からICTを活用したデジタル経済を「温もりのあるイノベーション」へとつなげる取り組みであり、これを地域課題が山積する島根県でも進めることが可能である。

そして、Society 5.0を目指す上でもう一つのカギとなるデータの集積と利活用に関しては、島根県は「官民データ活用推進基本法」の規定を踏まえた取り組みを島根県の実情に応じて促進する「島根県官民データ活用推進計画」の策定を進めており、「行政における業務効率化の推進」、「地域課題の解決」、「県民及び事業者の利便性向上」等に寄与することが目的とされている。そして「豊かなライフスタイルを送ることができるスマートな島根を創造する」ことを目指して、① データ活用で政策立案の質を高める、② デジタル化で県民の利便性を向上させる、③ 行政と地域のデジタル化を全庁で推進し官民で生産性を向上させる、④ 利用者目線に徹しつつ、安く・楽に取り組む、⑤ 人材育成へ投資をする、これらの方策が具体的に検討されている。

データ活用のためには、まさにデータを活用できる人材の育成が政策立案者だけでなく、データを発信し、またこれによるサービスを楽しむ側にいる島根県の住民全体に求められると考えられる。そこでこれらの方策が可能となるためにはまず島根県内の情報格差を情報インフラの格差の解消から進めることから始める必要がある。島根県内のどの地域においてもスマートフォンやSNS、IoT、そして4K・8K放送を受発信できる環境の整備と人材の育成のもとに、データを活用して地域課題を解決する、ICTを活用したデジタル経済を「温もりのあるイノベーション」、地域版のSociety 5.0の実現が可能となる。

### 第3章 雲南市における情報化の現状と課題

#### 1. 雲南市における情報化の現状

##### ① ケーブルテレビ

雲南市のケーブルテレビは、難視聴対策として市町村合併前の平成6年に掛合町、平成11年に加茂町・木次町・三刀屋町、平成14年に大東町、平成15年に吉田村でそれぞれ開局し、現在は雲南市・飯南町事務組合においてテレビ放送、インターネット接続サービス、大東町のみでIP電話サービスを提供している。

平成20年には、それぞれの町で行っていた有線放送などを統一するため、ケーブルテレビ伝送路を活用した音声告知放送システムを整備し、行政情報の提供を行っている。

ケーブルテレビ伝送路設備は、どの町も敷設から16年以上経過しており、特に掛合町エリアは25年経過しているため、早期に更新をする必要がある。

##### ② 公共ネットワーク

公共ネットワークについては、市役所本庁舎、総合センター、小学校、中学校及び図書館等の施設間を民間事業者の専用光回線により結んでおり、情報セキュリティ対策を図りながら構築している。

##### ③ 携帯電話

携帯電話については、昨今のICTの急速な進歩により、今や市民生活の中ではなくてはならないものとなっている。このような中で携帯電話事業者によるサービスが1社も利用できない不感地区を合併前の平成10年度から平成24年度にかけ、情報通信格差是正に取り組み37基地局の整備を行った。

総務省が今後の携帯電話等エリア整備事業の在り方を検討するために携帯電話不感地区調査を行った結果、平成27年国勢調査の結果に基づく夜間人口のあるエリアで携帯電話事業者のうち1社でも不感地区と判定された44地区のうち、10地区24世帯が不感地区であると判定した。

##### ④ インターネット

市内では雲南市・飯南町事務組合、民間通信事業者及び携帯電話事業者が提供するインターネット接続サービスを利用することが可能である。雲南市・飯南町事務組合においては、市内全域を提供エリアとし、最大で30Mbps（上り：2Mbps、下り：30Mbps）である。民間通信事業者は、大東町・加茂町・木次町・三刀屋町の一部地域を提供エリアとし、1Gbpsの超高速インターネットサービスの利用が可能となり、市内で情報通信格差が生じている。

##### ⑤ 公共施設、観光施設等への公衆無線LAN（Wi-Fi）

市内の公共施設及び観光施設等への公衆無線LANの設置については、市役所本庁舎、雲南市立病院、大東図書館、稲わら工房、須我神社、雲南市観光協会、奥出雲葡萄園、菅谷たた

ら、市内道の駅（さくらの里きすき、おろちの里、掛合の里、たたらば壺番地）の12カ所に設置をしている。

#### ⑥ 情報の受発信

市報のほかに、公式ホームページ（市立病院含む）、公式Facebook、公式YouTube、ケーブルテレビ（データ放送含む）、音声告知放送、文字放送に加え、子育てポータルサイト、若者サイト、定住サイト、企業紹介サイト、チャレンジサイト、公式アプリなど専用サイトを構築し、市内外へ情報発信を行っている。

#### ⑦ 番号制度の導入に伴う手続きの簡素化

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が平成25年に制定され、番号制度が導入されることにより、例えば年金や福祉関係の申請手続きの際に住民票などの添付書類が各情報保有機関の間で情報連携により簡略化された。

マイナンバーカードを利用して、全国のコンビニエンスストア等で住民票の写しや印鑑登録証明書など各種証明書を取得できる、いわゆるコンビニ交付サービスを令和元年に開始した。特に雲南市外の人でも雲南市に本籍があれば戸籍の証明交付が受けられる「本籍地証明書交付サービス」は、島根県内でも初の取り組みである。

#### ⑧ 学校でのICTを活用した教育の推進

市内の小中学校では、平成25年度よりパソコン教室等で使用する教育用パソコンの更新に併せ、タブレット端末の導入を行い、現在は全ての小中学校に整備した。

#### ⑨ テレワーク

日本の人口減少や女性の活躍進出、高齢化社会など変化が激しく、複雑化する社会問題に対応するため、地域、企業、行政など様々な関係者が協働して役割を担うことが求められている中、雲南市においては、これまでの子ども・若者・大人チャレンジに企業チャレンジを加えて、地域全体で社会課題を解決する雲南ソーシャルチャレンジバレーの取り組みを始めた。このことにより、社会課題を新たなマーケットとして捉える都市圏企業との連携・協業が始まりつつあり、新事業創出やサテライトオフィスの誘致につながる動きもある。また、市内企業においても新たな事業創出を模索する動きもある。

## 2. 雲南市情報化計画（H28年度～R1年度）期間中における取組状況

### 《情報発信の強化と市民との協働》分野

No.	事業名	取組内容	取組状況	今後の方向性
1	公式Facebookの開設	H25年7月に開設し、市内の出来事やイベント情報などを発信している。R1.7.12時点の「いいね」件	達成	運用

		数は 10,049 件		
2	公式 YouTube の開設	H26 年 3 月に開設し、観光 PV、幸雲南塾、雲南コミュニティキャンパス、桜まつりなどの動画を発信している。登録数は、175 本。	達成	運用
3	子育てポータルサイト「ゆっくり、子育て。雲南市」の開設	H27 年 7 月に子育て支援と移住・定住支援の双方の充実を目的に、子育て世代や首都圏在住の若者へ子育て情報をひとまとめにした子育てポータルサイト「ゆっくり、子育て。雲南市」を開設し、子育てに関する情報を積極的に発信している。	達成	運用
4	若者サイト「これから。Unnan」の開設	H27 年 11 月に結婚前の若者に対し、結婚から育児まで「切れ目ない支援」の紹介を行うため、若者サイト「これから。Unnan」を開設し、プロモーション動画や生活コストシュミレーションのソフトなどを提供している。	達成	運用
5	公式アプリの開設	H28 年 3 月に利用率の高いスマートフォンを活用し、子育てやイベントなど暮らしに関する様々な情報が簡単に入手できるよう「雲南アプリ」を開設し、情報発信をしている。	達成	運用
6	積極的な情報の受発信	市が開設した公式ホームページや公式 SNS などの媒体を活用した情報発信について、情報発信アドバイザーの助言を活かし、積極的な情報の発信を行っている。	達成	継続
7	広聴機会の充実	市政懇談会は、H27 年度から各町 1 会場の計 6 会場で共通テーマ及び会場ごとの地域別テーマを設定し、参加者の意見等を聴く場として開催している。また、まちづくり懇談会は、近年 1 回程度の開催となっている。この他に出前講座を随時開催している。	達成	継続
8	IT 講習の実施	市民が ICT を活用できる環境を整備するため、市民の情報活用能力の向上を図る目的で、初心者向けパソコン講習を地域自主組織型、出前型、市主催型として開催している。	達成	継続
9	子育てポータルサイトの運用	H27 年 7 月に子育て支援と移住・定住支援の双方の充実を目的に、子育て世代や首都圏在住の若者へ子育て情報をひとまとめにした子育てポータルサイト「ゆっくり、子育て。雲南市」を開設し、子育てに関する情報を積極的に発信している。	達成	継続



10	若者サイトの運用	H27年11月に結婚前の若者に対し、結婚から育児まで「切れ目ない支援」の紹介を行うため、若者サイト「これから。Unnan」を開設し、プロモーション動画や生活コストシュミレーションのソフトなどを提供している。	達成	継続
11	公式ホームページの改修	ホームページの検索性や操作方法をより使いやすくするため、H28年度末に改修を行った。また、アクセシビリティへの対応を強化した。	達成	運用
12	オープンデータの活用 の検討	H28年に「官民データ活用推進法」の制定に伴い、H30年12月に「雲南市オープンデータ公開・活用推進庁内ガイドライン」を定め、R1年度から市が保有する公共データをオープンデータとして公開している。R2年1月末現在、222データを公開。	達成	継続

《安全・安心で快適な市民生活の実現》分野

No.	事業名	取組内容	取組 状況	今後の 方向性
1	携帯電話鉄塔の建設	携帯電話の不感地区解消のため、市がH18年度からH24年度にかけて27基整備し、携帯電話事業者へ貸与した。合併前から整備したものを含めると37基ある。	達成	取組 終了
2	音声告知端末の設置	合併前に各町村で整備していた有線放送等が老朽化したため、H20年度からH22年度にかけてケーブルテレビの伝送路を活用したFM告知方式による音声告知放送システムを整備し、市内放送の一元化を図った。	達成	運用
3	データ放送の開始	H23年度にケーブルテレビの自主放送番組でデータ放送を開始し、「市からのお知らせ」、「お悔やみ」、「ごみ収集日」、「道路情報」などの情報発信を行っており、「気象情報（ポテカ）」や「ラジオ」の機能追加を行った。	達成	運用
4	ケーブルテレビ放送の デジタル化整備	H23年7月の地上アナログ放送終了に伴い、地上デジタル放送、CS放送のデジタル化対応、自主放送のハイビジョン化に向けたスタジオ、中継システムや車両設備などをH21年度からH25年度に整備した。	達成	取組 終了
5	移動通信（携帯電話）の エリア拡大へ向けた取	携帯電話不感地区が市内に10地区、24世帯あり、携帯電話事業者へエリア拡大等の要望を行って	未達 成	継続

	り組み	る。		
6	防災情報等の効果的な発信	しまね防災情報、音声告知放送、安全安心メール、緊急放送（エリアメール）、電話連絡、CATV データ放送、広報車、公式ホームページ、公式アプリ、報道メディアの活用など多様な媒体を活用し防災情報の発信を行っている。	達成	継続
7	学校での ICT を活用した教育の推進	H27 年度に、市内小学校 1 校でタブレット端末を導入し、H27～H29 年度に調査研究を実施した。R1 年度全日本教育工学教育協議会全国大会島根大会にて木次中校区 5 校で授業公開を実施（H29 年度関係校にタブレット等の整備）。H29 年度から市内小中学校へ、大型提示装置・実物投影機・教師用 PC（タブレット）の整備を開始した。	達成	継続
8	ICT を利活用した図書情報の提供	H23 年度に蔵書公開システムサーバを整備し、H26 年度に市立図書館ホームページ上で公開サービスを開始。H28 年度にサーバ更新を行った。	達成	運用
9	ケーブルテレビ伝送路の更新（光ファイバー化）の検討	開局から約 25 年が経過し、同軸アンプ（増幅器）の故障や同軸ケーブルの破断などによる障害が年々増加傾向にあり、また同軸アンプの製造終了に伴い、機材の入手が困難な状況にあるため、伝送路設備の更新を検討し、更新計画を立案した。	達成	整備
10	ケーブルテレビデータ放送リプレイス工事	H23 年度にデータ放送設備を導入し、機器の保守終了に伴い、データ放送設備の更新を H28 年度に行った。	達成	運用
11	公共施設、観光施設等への公衆無線 LAN（Wi-Fi スポット）設置	H28 年度に観光施設 5 カ所（稲わら工房、須我神社、雲南市観光協会、奥出雲葡萄園、菅谷たたら）へ公衆無線 LAN（Wi-Fi スポット）を整備した。道の駅さくらの里きすき、道の駅掛合の里については、国土交通省により同年整備された。（※道の駅たたらば壱番地及び道の駅おろちの里は島根県により整備済）。また、観光案内用の動画と英語音声コンテンツを制作した。	達成	継続
12	無線等による情報伝達手段の整備に向けた検討	H29 年度に、280MHz デジタル同報無線システムを整備することを決定した。この防災無線により、屋外拡声子局（屋外スピーカー）及び戸別受信機（防災ラジオ）により住民へ防災情報を伝達する。	達成	整備

《業務の効率化とシステムの基盤強化》分野

No.	事業名	取組内容	取組状況	今後の方向性
1	電子化手続受付システムへの参画	電子申請システムを活用し、各種手続き及び申請が電子申請にて行えるようなシステムを整備した。	達成	運用
2	基幹系業務システムの再構築	H30年度に基幹系業務システム(雲南市住民記録システム)の更新を行った。	達成	継続
3	内部情報系業務システムの更新	R1年度内部情報系業務システム及びネットワークの最適化を行った。	達成	継続
4	しまね医療情報ネットワーク「まめネット」への参画	H25年度に市立病院がまめネットに参加し、連携カルテ、画像中継サービス、感染症サーベイランス(感染症情報提供)、在宅情報共有サービスを利用し、関係機関と情報共有を行っている。また、しまね医療情報ネットワーク協会から月2回程度市立病院に普及員の派遣を依頼し、まめネットの普及活動を行っている。	達成	運用
5	電子化手続受付システムの推進	電子申請システムを活用し、各種手続き及び申請が電子申請にて行えるようなシステムを整備した。	達成	継続
6	証明発行システム検討(番号制度)	マイナンバーカードを利用した窓口での証明発行システムの構築について検討した。	達成	継続
7	コンビニエンスストアを活用した新たな行政サービスの導入	マイナンバーカードを利用したコンビニ交付サービスについて、H30年度から導入に向け準備を進め、R1年11月11日よりサービスを開始した。全国のコンビニ等で証明交付が可能となり、特に市外の住民でも雲南市に本籍があれば戸籍の証明交付が受けられる「本籍地証明書交付サービス」を県内で初めて導入した。	達成	運用
8	住民記録システムの再構築(更新)	H30年度に基幹系業務システム(雲南市住民記録システム)の更新を行った。	達成	運用

### 3. 雲南市における情報化の課題

第1次情報化計画においては、3本の柱「情報発信の強化と市民との協働」、「安全・安心で快適な市民生活の実現」、「業務の効率化とシステムの基盤強化」からなる基本目標に沿って事業を展開しました。

#### ① 「情報発信の強化と市民との協働」

公式ホームページ、ケーブルテレビなどを活用して市政に関する情報を積極的に発信し、市民との情報の共有化を図ってきたところである。毎年行っている市民アンケート結果では、「市政に関する情報が分かりやすく提供されていると感じる割合」が58.7%、「市政に関する情報が得やすいと感じる市民の割合」が54.4%である。各担当課では情報量にばらつきがあるため、情報発信専門スタッフの設置や外部委託などコストを抑えた運営の仕方なども検討する必要がある。

市政懇談会の参加者も年々減少傾向にあるため、広聴機会の在り方について検討する必要がある。

オープンデータの活用の検討については、平成28年の「官民データ活用推進法」制定に伴い、平成30年度に「雲南市オープンデータ公開・活用推進町内ガイドライン」を定め、令和元年度から市が保有する公共データをオープンデータとして公開している。今後も、データ所管課と連携を図りながら公開を進める必要がある。

#### ② 「安全・安心で快適な市民生活の実現」

携帯電話の不感地区解消に向け、携帯電話事業者と連携を図りながら鉄塔建設を進めてきたが、依然、市内には不感地区が10地区、24世帯残っている。地元住民や今回行った市民及び高校生アンケートにおいても携帯電話の不感地区解消の要望がある。

ケーブルテレビの伝送路設備等は古いエリアで25年を経過し、同軸アンプ（増幅器）の故障や同軸ケーブルの破断などによる障害が年々増加傾向にある。さらに現在使用している同軸アンプの製造終了に伴い機材の調達が困難な状況にある。このため、早期に光ケーブルに更新する必要がある。今回行ったアンケート結果では、市民のインターネットの満足度は「満足」が39.9%、「多少満足」が40.3%で全体の80.2%が満足しているが、高校生の場合、「満足」が20.8%、「多少満足」が25.0%と全体の45.8%が満足しているという結果であった。不満の理由としては、「通信速度が遅い」、「回線が安定しない」などであった。また、ケーブルテレビの自主放送番組やデータ放送の満足度は、自主放送番組が80.0%、データ放送が89.4%と高い結果であった。その他に市が進めるべき情報化施策として意見の多かったものは、「災害情報の充実」が26.5%、「インターネット申請」が17.2%、「インターネットの高速化」が13.8%、その他の意見としては「フリーWi-Fiの設置」、「4K・8K対応」、「中山間地域への光回線」などであった。

公共施設及び観光施設等への公衆無線LAN（Wi-Fi）の設置については、近年、訪日外国人の観光客が増加傾向にあり、Wi-Fiスポットの設置が求められているが、無線電波が弱い施設もあるので、ケーブルテレビ伝送路の更新に併せて検討する必要がある。

学校での ICT を活用した教育の推進については、タブレット端末の増、デジタルコンテンツの普及に伴い通信使用量が拡大し通信速度の課題が明確化した。タブレットの性能も年々改善し、新 OS の登場など利用者が便利になる側面、タブレットの活用方法やソフトウェア等選択肢が広がったことによるコスト増などの課題が増えている。また、学校現場におけるセキュリティポリシーの制定、校務用・学習用の分離など新たな課題もある。

### ③ 「業務の効率化とシステムの基盤強化」

共同利用型クラウド導入にあたっては、他自治体との調整が不可欠であるが、システムの導入時期や業務の調整が課題である。また、セキュリティ情勢は日々変化しており、地方自治体でもより高度なセキュリティ対策を求められているため、運用を含めた対策が必要となっている。

コンビニエンスストアを活用した新たな行政サービスの導入については、住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明書、所得証明書・課税証明書を対象にマイナンバーカードを利用したコンビニ交付を令和元年度から開始したが、マイナンバーカードを所有する人が少なく、サービスを利用する人も限られているため、マイナンバーカードの普及啓発が必要である。

## 第4章 雲南市情報化計画の方向性

### 1. 第2次雲南市情報化計画の基本方針

#### (1) 基本方針

「第2次雲南市総合計画」の基本理念は、「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」～「課題先進地」から「課題解決先進地」へ～です。

第2次雲南市総合計画（後期基本計画・第2期総合戦略）においては、これまでの前期基本計画・第1期総合戦略を踏まえ、「人口の社会増」に向けた重点戦略として「定住基盤の整備」、「人材の育成・確保」に取り組むことが示されています。

「第2次雲南市総合計画」の政策ごとの将来像の中で、①みんなで築くまち（協働・行政経営）の施策3「市民と行政の情報の共有化」、施策5「時代にあった行政サービスの実現」及び②安全・安心で快適なまち（定住環境）の施策11「地域情報化の推進」として、それぞれ以下のとおり基本方針を盛り込んでおります。

#### 03. 市民と行政の情報の共有化

##### ◆基本方針

- ・市民にとって分かりやすく、得やすく且つ迅速な情報提供を行います。
- ・市政懇談会、まちづくり懇談会などの広聴機会の充実に努め、市民の意見や要望を市政運営に反映します。

##### ◆具体的な事業

- ・広聴機会の充実
- ・広報媒体による情報提供の充実

#### 05. 時代にあった行政サービスの実現

##### ◆基本方針

- ・市民に親しまれる市役所づくりと市民目線に立った行政サービスの提供に取り組みます。
- ・民間活力・ICTの活用、広域連携の推進によるサービス向上を図ります。
- ・行政サービスの効率化を進め、コスト削減を図ります。

##### ◆具体的な事業

- ・業務と組織機構の効率化
- ・ICT活用の推進
- ・民間活力の導入と広域行政の推進
- ・市民に親しまれる窓口サービスの提供

#### 11. 地域情報化の推進

##### ◆基本方針

- ・施設の計画的な更新に併せ、インターネットの高速化など施設の利活用を推進するとともに情報通信環境の向上を図ります。

- ・市民が情報通信機器を利活用するノウハウ習得・能力向上を図ります。

◆具体的な事業

- ・情報通信環境の整備促進
- ・情報通信技術の向上

「第2次雲南市総合計画（後期基本計画・第2期総合戦略）」に則り、定住基盤の整備と人材の育成・確保を重点戦略として取り組むことによって「人口の社会増」となるように、情報化の分野においても分かりやすく、得やすく且つ迅速な情報提供と、情報通信環境の整備を進めていかなければなりません。

この基本方針に則り、本市がこれから取り組むべき情報化施策については、第1次情報化計画で定めた基本目標を引き続き基本目標としました。

**3本の柱**

- ・情報発信の強化と市民との協働
- ・安全・安心で快適な市民生活の実現
- ・業務の効率化とシステムの基盤強化

(2) 基本目標

① 情報発信の強化と市民との協働

市報、公式ホームページ、ケーブルテレビ、公式 SNS、公式 YouTube 等の広報媒体を活用し、市政に関する情報を積極的に発信し、市民と情報の共有化を図ることによって、まちづくりに参画しやすい仕組みづくりを進めます。市民はもちろん、地域自主組織や NPO 等様々な活動団体との情報の連携も図り、主体的な課題解決に取り組む環境をサポートします。

また、子育て、定住、チャレンジなどに関する情報もこれまで構築した専用サイトを活用して集中的かつ積極的に市内外へ情報発信を行い、子育て支援や定住、企業のための環境を整えます。

さらに行政の高度化・効率化・透明性・信頼性の向上を図るため、公共データをオープンデータ化して積極的に公開し、市民や民間企業などの利活用できる環境を整えます。

② 安全・安心で快適な市民生活の実現

市民アンケートの結果からも防災への関心の高さが顕著に表れています。こうした課題にもしっかりと対応し、安全・安心なまちづくりを進めていかなければなりません。

具体的には、災害発生時はもちろん、発生前に情報を収集し、ケーブルテレビ、音

声告知放送、防災行政無線等を通じて、迅速、正確な情報伝達に努め、市民が安心して生活できる環境づくりに努めます。

また、ケーブルテレビ伝送路設備の更新に併せ、インターネットの高速化や公共施設・観光施設の公衆無線 LAN の整備を進め、情報通信基盤の強化を図ります。

さらに、学校教育では、情報通信機器を活用し、子どもたちが確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育環境の充実を図り、次代を担う子どもたちが健やかに成長できる環境づくりを目指します。

### ③ 業務の効率化とシステムの基盤強化

行政内部において、業務のシステム開発によりコスト削減に努め、市情報セキュリティポリシーにより、機密性、安全性、可用性を維持した安全・安心な情報システム管理を推進します。また、職員の情報リテラシー能力を高め、業務の効率化を図ります。

また、各種行政手続きにおいて家庭からパソコンを通して申請ができる手続きの拡充なども検討を進めてまいります。

さらに必要に応じて基幹システムを更新し、基盤強化を図ってまいります。



第5章 情報化に向けた取組み

《情報発信の強化と市民との協働》分野

No.	事業名	概要	目標	担当部署
1	広聴機会の充実	市政に対しての広聴の場として市政懇談会を開催します。また、市長が市民の皆さんと直接まちづくりについて語り合うまちづくり懇談会、市民の皆さんが主催する催しに職員が出席し情報提供を行う出前講座、地域円卓会議などを行います。	市政懇談会等参加者数：年間7,500人	情報政策課
2	IT講習の実施 【官デ】	市民を対象にIT関連機器の操作や利活用方法の講習会を実施し、市民のICTリテラシーの向上を図ります。また、情報セキュリティに関するスキルの向上も含めた講習会を行います。	IT講習受講者数：年間150人	情報政策課
3	積極的な情報の受発信	公式ホームページや市立病院ホームページ、公式Facebook、公式YouTube、子育てポータルサイト、若者サイト、定住情報サイト、企業紹介サイト、チャレンジサイトおよび公式アプリなどを活用した情報発信について、地域情報化アドバイザーの助言をもとに積極的な市のPRを行います。 また、各情報発信ツールの検索性や内容の充実を図り、さらに周知を行います。	市民アンケート ・市政に関する情報が分かりやすく提供されていると感じる市民の割合：R6年度67% ・市政に関する情報が得やすいと感じる市民の割合：R6年度65%	政策推進課・うんなん暮らし推進課・情報政策課・健康推進課・商工振興課・市立病院
4	オープンデータ化の促進 【官デ】	H30年12月に定めた「雲南市オープンデータ公開・活用推進庁内ガイドライン」に基づき、市が保有する公共データのオープンデータ化を推進します。	オープンデータ公開件数：R6年度末400件	情報政策課

※【官デ】：市町村官民データ活用推進計画としての位置付けを併せ持つ事業

《安全・安心で快適な市民生活の実現》分野

No.	事業名	概要	目標	担当部署
1	音声告知放送設備更新工事	音声告知放送設備の整備から 10 年が経過し、設備の老朽化や機器の保守終了のため、設備の更新工事を行います。	音声告知放送整備の更新工事完了：R5 年度末	情報政策課
2	移动通信（携帯電話）のエリア拡大へ向けた取り組み 【官デ】	携帯電話不感地区のエリア拡大等を携帯電話事業者に働き掛けます。	携帯電話不感地域地区世帯数：R6 年度末 10 世帯	情報政策課
3	防災情報等の効果的な発信	音声告知放送、安全安心メール、緊急放送（エリアメール）、電話連絡、CATV データ放送、広報車、公式ホームページ、公式アプリ、報道メディアの活用など多様な媒体を活用し防災情報の発信を行います。	新たな防災無線システム整備により多様な媒体と連携のもと、迅速かつ的確な防災情報の発信に努めます。	防災安全課
4	学校での ICT を活用した教育の推進 【官デ】	大型提示装置・実物投影機・教師用 PC（タブレット）を市内全小中学校普通教室への整備を行います。また、校務系、学習系のネットワーク分離・セキュリティ機器の更新による、セキュリティ環境の構築を行います。さらに児童、生徒一人 1 台環境整備・通信インフラ環境の整備の検討を進めます。校務の効率化を図ります。	<u>学校の ICT 環境整備</u> ・学習者用タブレットの整備 ・大型提示装置・実物投影機 100%整備 ・超高速通信環境・校内無線 LAN 100%整備 ・教育情報セキュリティポリシーの策定 <u>教員の ICT 活用指導力</u> ・教材研究・指導の準備・評価・校務など ICT 活用能力 90%以上 ・授業に ICT を活用して指導する能力 90%以上 ・児童の ICT 活用を指導する能力 90%以上 ・情報活用の基盤とな	学校教育課

			る知識や態度について 指導する力 90%以上	
5	ケーブルテレビ 伝送路設備等の 更新 (FTTH 化) 工事 【官デ】	老朽化した設備は光ファイバーケー ブルによる設備へ計画的に更新を行 います。	計画的に更新を行いま す。	情報政策課
6	防災行政無線の 整備	R1 年度～2 年度に、280MHz デジタル 同報無線システムを整備します。こ の防災無線により、屋外拡声子局(屋 外スピーカー) 及び戸別受信機 (防 災ラジオ) により住民へ防災情報を 伝達します。	防災行政無線の整備完 了 : R2 年度	防災安全課
7	公共施設、観光 施設等への公衆 無線 LAN 設置 【官デ】	ケーブルテレビ伝送路等を活用し観 光動態調査等の入込数等を考慮しな がら、公共施設、観光施設等への公 衆無線 LAN (Wi-Fi スポット) を整備 します。	公共施設、観光施設等 に整備を行います。	情報政策 課・観光振 興課
8	地方と都市を結 ぶ高速通信網の 整備	企業の地方移転や地方での起業、テ レワークの実現に向け、周辺部にも 高速インターネット環境の整備を進 めます。	求職ニーズの高いソフ ト系事務職場の誘致や テレワークなどを通じ て、新たな働く場と働 き方の創出を目指しま す。	商工振興課

※【官デ】：市町村官民データ活用推進計画としての位置付けを併せ持つ事業

《業務の効率化とシステムの基盤強化》分野

No.	事業名	概要	目標	担当部署
1	基幹系業務シス テムの再構築 【官デ】	H30 年度に更新した基幹系業務シス テム (雲南市住民記録システム) の 再構築について検討を行います。	再構築の検討 : R5 年度 まで	情報システ ム課
2	内部情報系業務 システムの再構 築 【官デ】	セキュリティ情勢は日々変化してお り、地方自治体でもより高度なセキ ュリティ対策を求められているた め、運用を含めた対策が必要となっ ています。	再構築の検討 : R6 年度 まで	情報システ ム課
3	電子化手続受付	H17 年度に導入した電子申請システ	電子申請利用者数を増	情報システ

	システムの推進 【官デ】	を活用し、可能な手続きを増やすなど利用者の増加につながる取り組みを行います。	加させます。	ム課
4	マイナンバーカードの普及促進と利活用の検討 【官デ】	R1年11月11日よりマイナンバーカードを利用したコンビニ交付サービスを開始し、全国のコンビニ等で証明交付が可能となりました。今後、さらに市民サービスの向上及び事務の効率化を図るためにマイナンバーカードを利用したサービスの提供の検討を行います。	計画期間中、マイナンバーカードを利用した市民サービス（窓口での申請書作成支援システムによる手続の簡素化等）の検討を進めると共に、マイナンバーカードのメリットをPRし、カード取得者及びカード利用者の増に向けた取り組みを進めます。	市民生活課
5	ペーパーレス化の検討 【官デ】	R1年度に実施した議会資料を先行事例として検証を行い、庁内会議（部長会議・政策戦略会議等）のタブレット利用によるペーパーレス化などによって、印刷事務や紙の使用量の縮減、会議の効率化を図るとともに環境負荷の低減を図ります。	庁内会議（部長会議・政策戦略会議等）のタブレット利用によるペーパーレス化の検討を行います。	総務課
6	AI、RPA等の導入検討 【官デ】	効率的な行政運営を進めるため、AI、RPA等のICT技術導入について、先進事例の研究や導入効果のある業務の検討を進めます。	導入事業や効果の検討を行います。	行財政改革推進室

※【官デ】：市町村官民データ活用推進計画としての位置付けを併せ持つ事業

# 資料編

## ○情報化に関する市民アンケート調査結果

### 1. 調査目的

第2次雲南市情報化計画の策定に向け、計画の参考とするため市民のインターネット、テレビ(データ放送含む)、市のホームページなどの利用状況等を把握する。

### 2. 調査対象

雲南市に住民票を有する令和元年10月1日現在で満20歳以上の方の中から無作為に抽出した1,000人

### 3. 調査時期

令和元年11月11日～令和元年11月29日

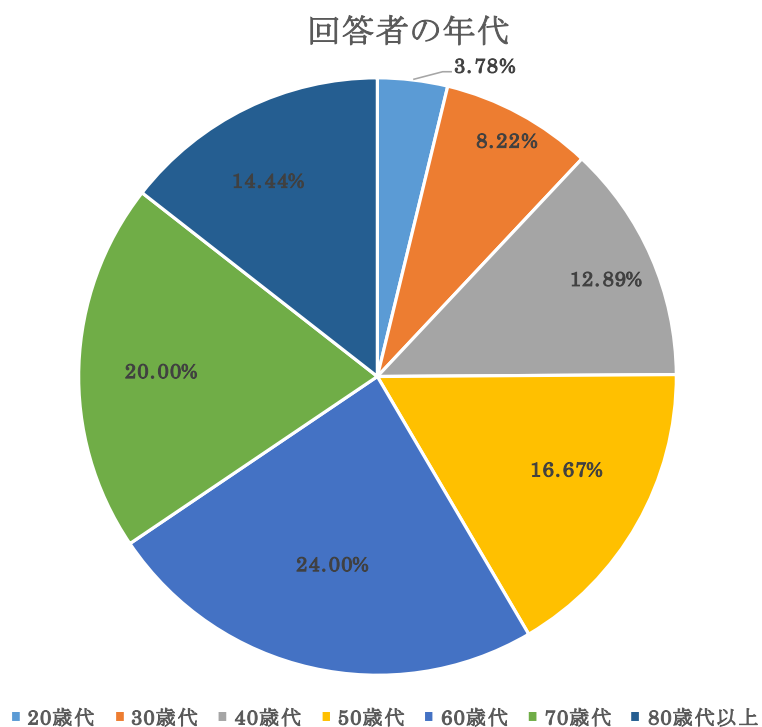
### 4. 回収率

45.0%

### 5. 分析結果

#### ①回答者の年代

	計
20歳代	17
30歳代	37
40歳代	58
50歳代	75
60歳代	108
70歳代	90
80歳代以上	65
計	450



②市の情報などの入手手段(複数回答可)

	新聞	テレビ	雑誌	ラジオ	携帯電話	広報紙	回覧板	インターネット	市役所訪問	告知放送	その他	計
20歳代	7	7	0	1	2	7	6	10	0	6	0	46
30歳代	10	22	1	2	10	21	8	12	1	14	1	102
40歳代	18	35	0	0	7	41	24	18	0	32	2	177
50歳代	25	41	2	6	13	58	45	17	1	44	2	254
60歳代	45	83	5	3	18	80	74	24	2	72	2	408
70歳代	44	55	2	5	9	63	63	11	1	61	3	317
80歳代以上	28	43	1	4	4	44	42	3	1	36	2	208
計	177	286	11	21	63	314	262	95	6	265	12	1,512

	1位	2位	3位
20歳代	インターネット	新聞・テレビ・広報紙	回覧板・告知放送
30歳代	テレビ	広報紙	告知放送
40歳代	広報紙	テレビ	告知放送
50歳代	広報紙	回覧板	告知放送
60歳代	テレビ	広報紙	回覧板
70歳代	広報紙・回覧板	告知放送	テレビ
80歳代以上	広報紙	テレビ	回覧板

③自宅での情報機器の保有状況(複数回答可)

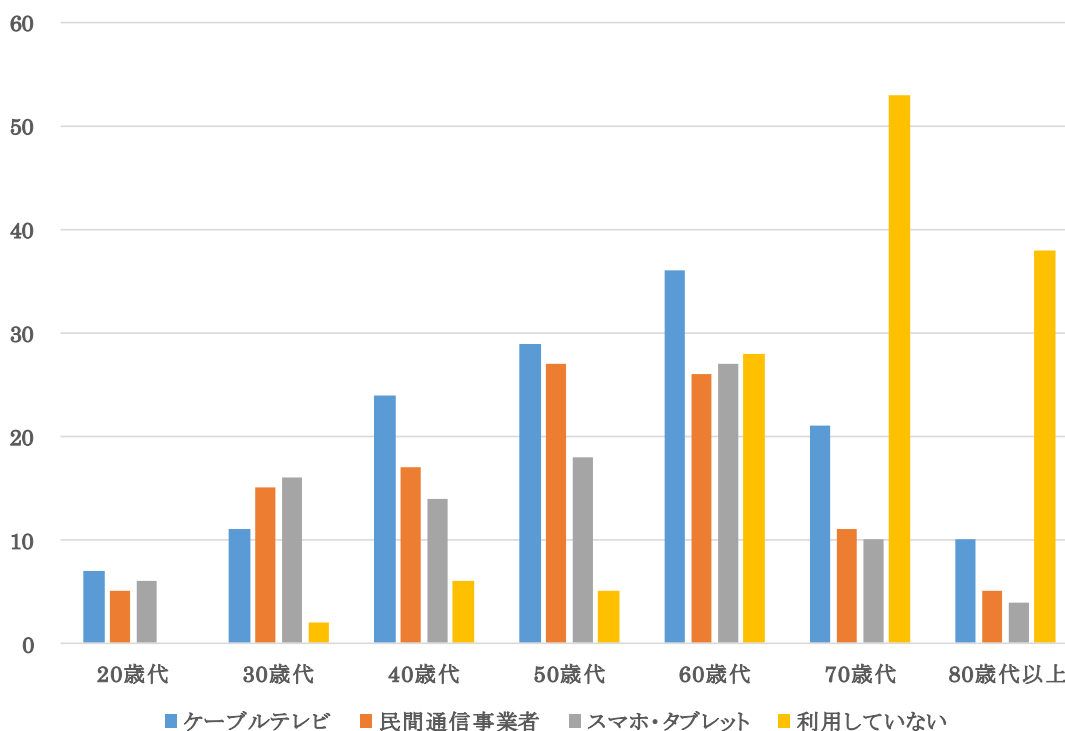
	一般電話	IP電話	携帯電話	スマホ	タブレット	ファックス	パソコン	テレビ	ラジオ	告知放送	その他	計
20歳代	14	0	8	16	7	7	14	16	9	13	0	104
30歳代	23	1	17	33	13	10	27	32	13	23	0	192
40歳代	49	5	36	52	26	26	49	55	24	50	0	372
50歳代	65	4	51	66	23	24	60	70	36	65	0	464
60歳代	105	2	78	75	35	52	77	102	63	83	0	672
70歳代	83	0	63	33	18	38	44	84	47	70	0	480
80歳代以上	61	1	44	17	7	24	25	61	25	45	0	310
計	400	13	297	292	129	181	296	420	217	349	0	2,594

	1位	2位	3位
20歳代	スマホ・テレビ	一般電話・パソコン	告知放送
30歳代	スマホ	テレビ	パソコン
40歳代	テレビ	スマホ	告知放送
50歳代	テレビ	スマホ	一般電話・告知放送
60歳代	一般電話	テレビ	告知放送
70歳代	一般電話・テレビ	告知放送	携帯電話
80歳代以上	一般電話・テレビ	告知放送	携帯電話

#### ④自宅でのインターネット回線の利用状況

	ケーブルテレビ	民間通信事業者	スマホ・タブレット	利用していない	計
20歳代	7	5	6	0	18
30歳代	11	15	16	2	44
40歳代	24	17	14	6	61
50歳代	29	27	18	5	79
60歳代	36	26	27	28	117
70歳代	21	11	10	53	95
80歳代以上	10	5	4	38	57
計	138	106	95	132	471

自宅でのインターネット回線の利用状況



※全体で 72.0%がインターネットを利用しており、前回調査(H26.12.22~H27.1.16) 55.1%より 16.9 ポイント増加している。

※20歳代~50歳代では、ほとんど(93.6%)がインターネットを利用している。

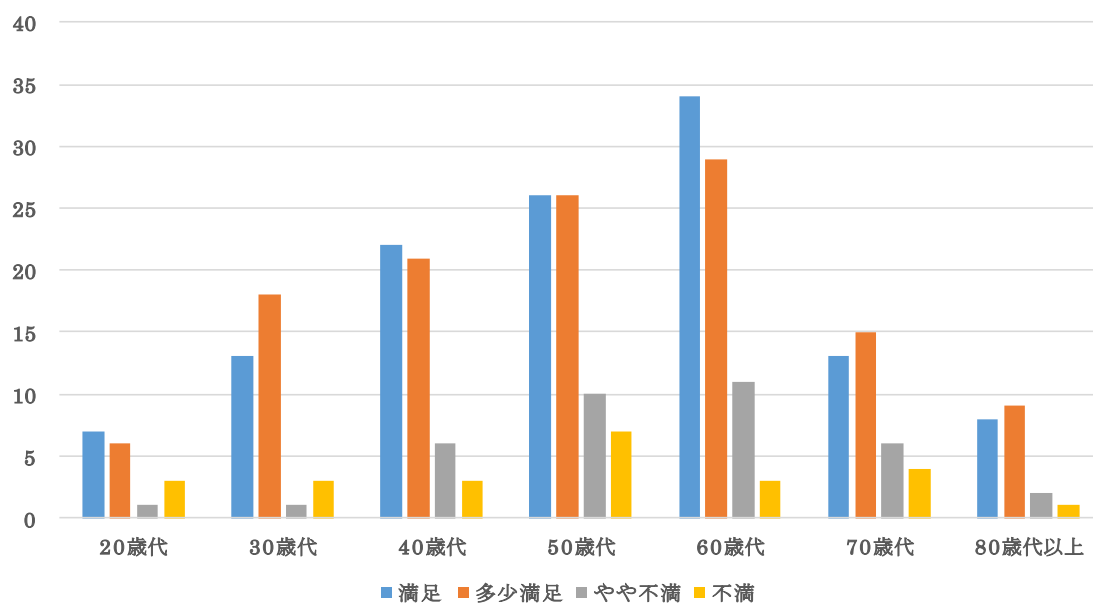
※70歳代、80歳代では、利用率(40.1%)が低いですが、前回調査 19.1%より 21 ポイント増加している。また、60歳代も前回調査 47.1%と比べると利用率が 76.1%となり、29 ポイント増加している。インターネットの普及が進んでいることがうかがえる。



### ⑤-1インターネット利用者の満足度

	満足	多少満足	やや不満	不満	計
20歳代	7	6	1	3	17
30歳代	13	18	1	3	35
40歳代	22	21	6	3	52
50歳代	26	26	10	7	69
60歳代	34	29	11	3	77
70歳代	13	15	6	4	38
80歳代以上	8	9	2	1	20
計	123	124	37	24	308

インターネット利用者の満足度



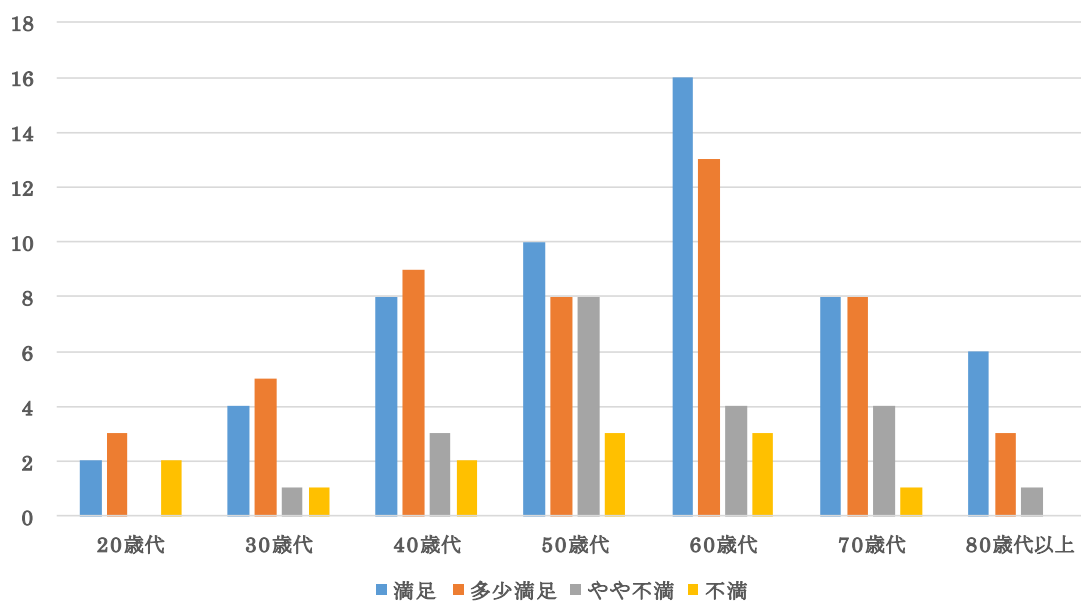
※全体で 80.2%が「満足」、「多少満足」しており、前回調査 75.8%より 4.4 ポイント増加している。

※やや不満、不満の理由としては、「(ケーブルテレビ回線の)通信速度が遅い」、「携帯電話の電波が繋がりにくい。繋がらない。」、「通信回線が少ない」、「利用者が増えると通信速度が低下する」、「利用料金が高い」等が挙げられる。

⑤-2ケーブルテレビインターネット利用者の満足度

	満足	多少満足	やや不満	不満	計
20歳代	2	3	0	2	7
30歳代	4	5	1	1	11
40歳代	8	9	3	2	22
50歳代	10	8	8	3	29
60歳代	16	13	4	3	36
70歳代	8	8	4	1	21
80歳代以上	6	3	1	0	10
計	54	49	21	12	136

ケーブルテレビインターネット利用者の満足度

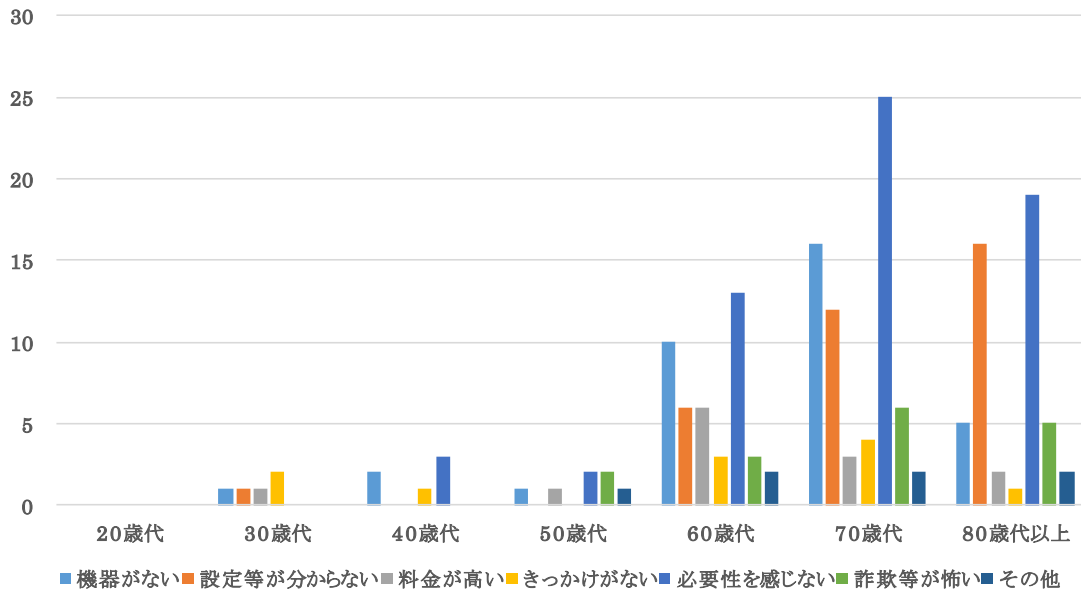


※ケーブルテレビインターネット利用者は、75.7%が「満足」、「多少満足」している。  
 ※全体での「やや不満」、「不満」は、19.8%であるが、ケーブルテレビ利用者の「やや不満」、「不満」は、24.3%であり不満な割合が高い。

⑥インターネットを利用しない理由

	機器がない	設定等が分からない	料金が低い	きつかけがない	必要性を感じない	詐欺等が怖い	その他	計
20歳代	0	0	0	0	0	0	0	0
30歳代	1	1	1	2	0	0	0	5
40歳代	2	0	0	1	3	0	0	6
50歳代	1	0	1	0	2	2	1	7
60歳代	10	6	6	3	13	3	2	43
70歳代	16	12	3	4	25	6	2	68
80歳代以上	5	16	2	1	19	5	2	50
計	35	35	13	11	62	16	7	179

インターネットを利用しない理由

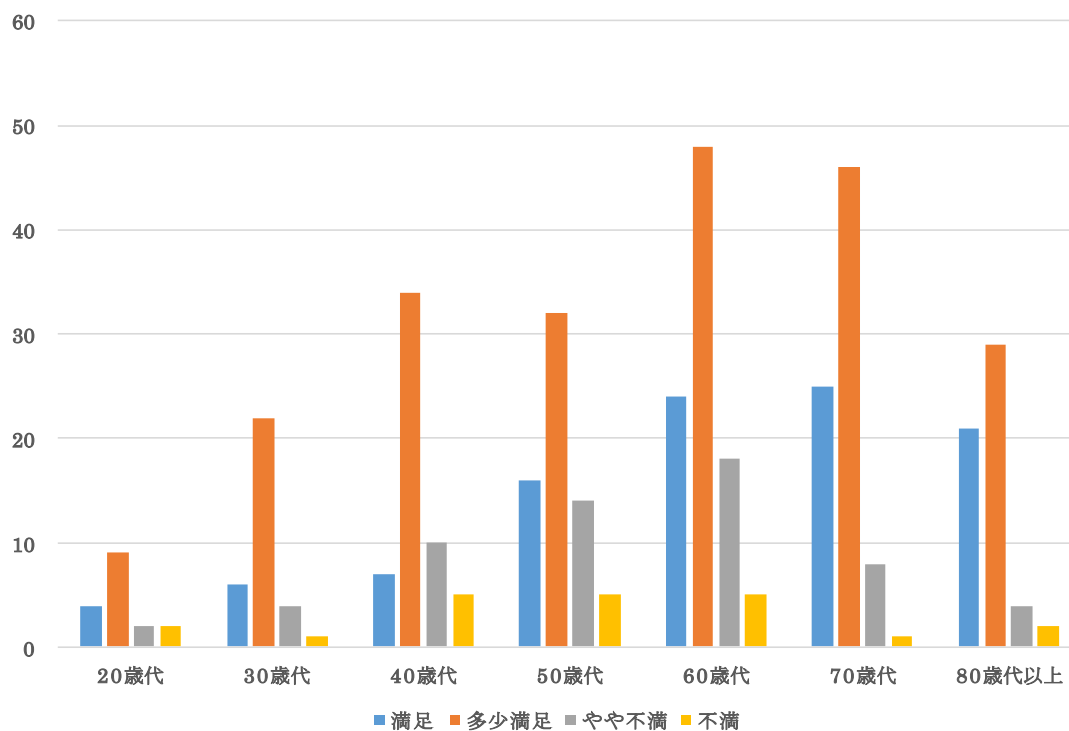


※利用しない理由は、「必要性を感じない」が多い。

⑦ケーブルテレビ自主放送番組の満足度

	満足	多少満足	やや不満	不満	計
20歳代	4	9	2	2	17
30歳代	6	22	4	1	33
40歳代	7	34	10	5	56
50歳代	16	32	14	5	67
60歳代	24	48	18	5	95
70歳代	25	46	8	1	80
80歳代以上	21	29	4	2	56
計	103	220	60	21	404

ケーブルテレビ自主放送番組の満足度

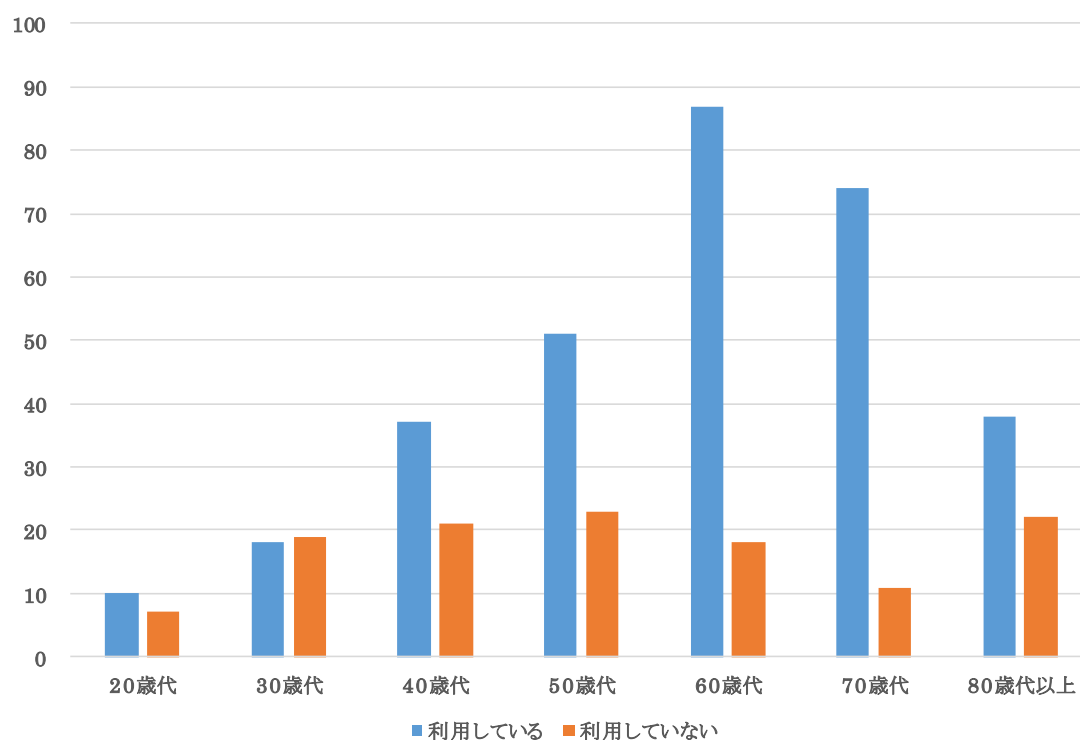


※全体で 80.0%が「満足」、「多少満足」であり、前回調査 68.8%より 11.2 ポイント増加している。

### ⑧データ放送の利用状況

	利用している	利用していない	計
20歳代	10	7	17
30歳代	18	19	37
40歳代	37	21	58
50歳代	51	23	74
60歳代	87	18	105
70歳代	74	11	85
80歳代以上	38	22	60
計	315	121	436

データ放送の利用状況



※全体で 72.2%がデータ放送を利用しており、前回調査 63.4%より 8.8 ポイント増加している。

⑨利用しているデータ放送の種類

	お知らせ	健康・福祉	道路情報	公共機関	安全・安心	ゴミ	夢ネット	トピックス	お悔み	ラジオ	お天気	計
20歳代	4	0	5	0	0	5	6	1	8	1	6	36
30歳代	6	0	2	0	2	4	14	1	16	2	7	54
40歳代	13	3	10	3	6	12	21	9	31	0	28	136
50歳代	21	4	13	6	7	12	18	8	46	4	30	169
60歳代	51	18	21	9	19	27	48	12	84	3	57	349
70歳代	45	14	19	11	14	18	47	13	69	4	45	299
80歳代以上	28	13	13	3	2	8	29	1	44	2	23	166
計	168	52	83	32	50	86	183	45	298	16	196	1,209

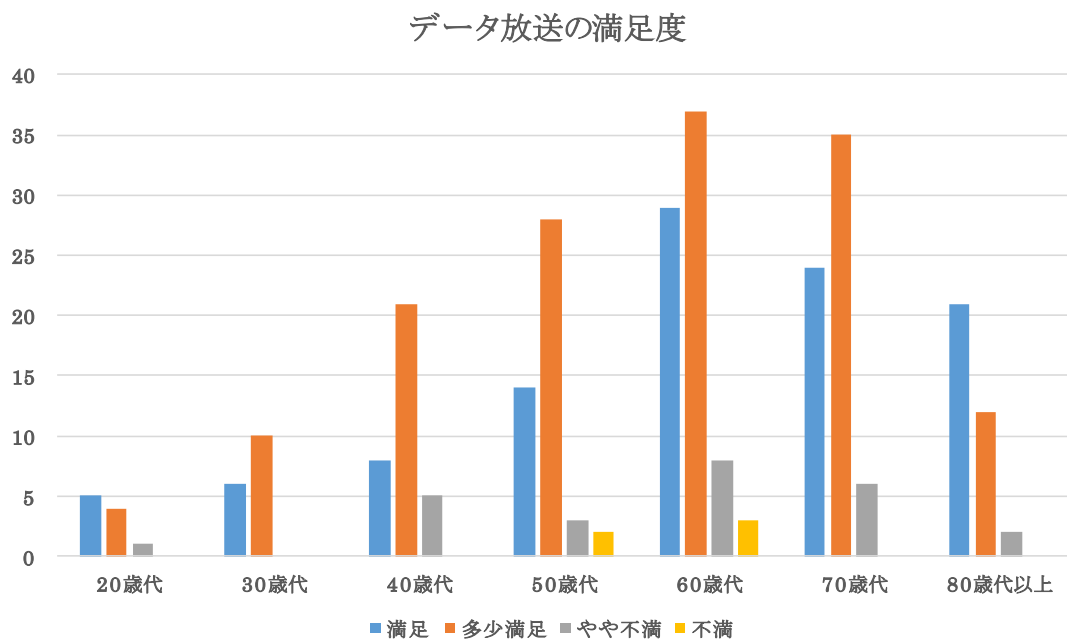
	1位	2位	3位
20歳代	お悔み	夢ネット・お天気	ゴミ
30歳代	お悔み	夢ネット	お天気
40歳代	お悔み	お天気	夢ネット
50歳代	お悔み	お天気	お知らせ
60歳代	お悔み	お天気	お知らせ
70歳代	お悔み	夢ネット	お知らせ・お天気
80歳代以上	お悔み	夢ネット	お知らせ

※「お悔み」、「お天気」、「夢ネット」、「お知らせ」の利用が多い。

※各年代ともお悔みの利用が多い。

⑩ データ放送の満足度

	満足	多少満足	やや不満	不満	計
20歳代	5	4	1	0	10
30歳代	6	10	0	0	16
40歳代	8	21	5	0	34
50歳代	14	28	3	2	47
60歳代	29	37	8	3	77
70歳代	24	35	6	0	65
80歳代以上	21	12	2	0	35
計	107	147	25	5	284

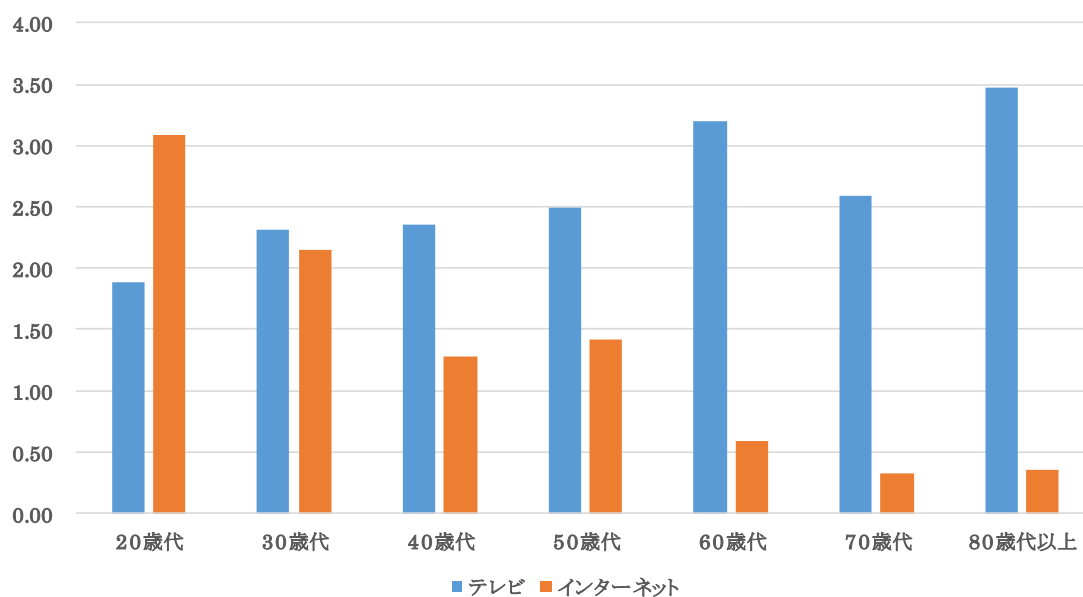


※全体で 89.4%が「満足」、「多少満足」であり、前回調査 73.6%より 15.8 ポイント増加している。

⑪テレビ・インターネットの利用時間(時間/日)

	テレビ	インターネット	計
20歳代	1.88	3.09	4.97
30歳代	2.32	2.15	4.47
40歳代	2.35	1.28	3.63
50歳代	2.49	1.42	3.91
60歳代	3.20	0.59	3.79
70歳代	2.59	0.32	2.91
80歳代以上	3.48	0.35	3.83
平均	2.62	1.31	3.93

テレビ・インターネット利用時間(時間/日)



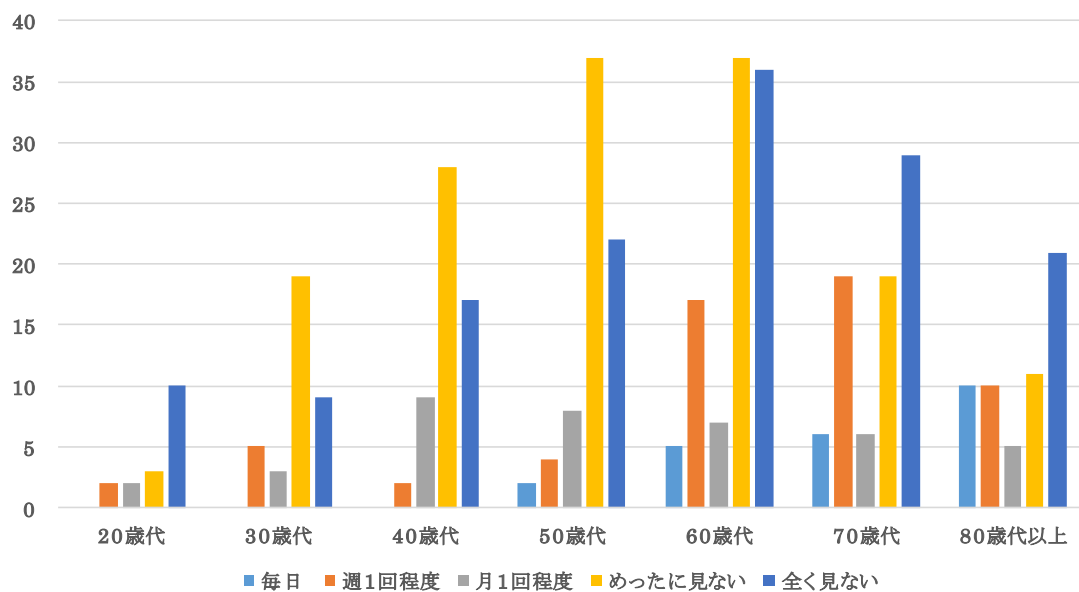
※年齢が上がるにつれ、テレビの利用時間も増加している。逆にインターネットの利用時間は減少している。



⑫市ホームページの閲覧頻度

	毎日	週1回程度	月1回程度	めったに見ない	全く見ない	計
20歳代	0	2	2	3	10	17
30歳代	0	5	3	19	9	36
40歳代	0	2	9	28	17	56
50歳代	2	4	8	37	22	73
60歳代	5	17	7	37	36	102
70歳代	6	19	6	19	29	79
80歳代以上	10	10	5	11	21	57
計	23	59	40	154	144	420

市ホームページ閲覧頻度



※全体で 29.0%が定期的に市ホームページを閲覧しており、前回調査 23.2%より 5.8 ポイント増加している。

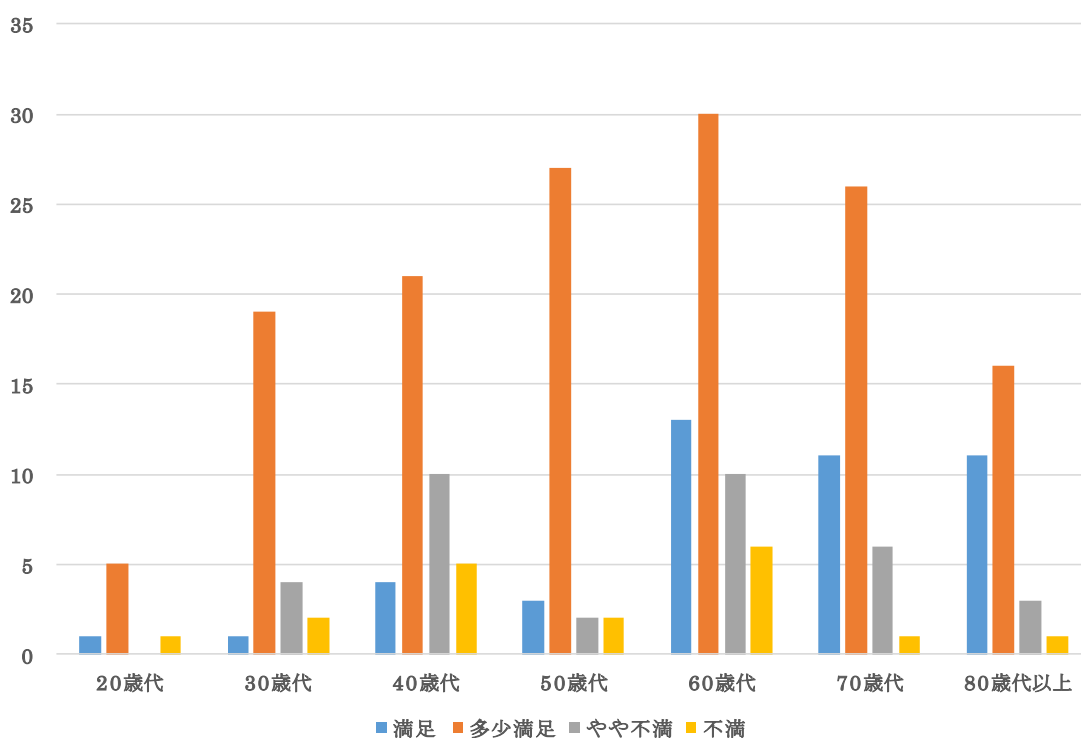
《参考》

※市ホームページのアクセス件数 348,984 件 【令和元年(1月～12月)】

### ⑬市ホームページの満足度

	満足	多少満足	やや不満	不満	計
20歳代	1	5	0	1	7
30歳代	1	19	4	2	26
40歳代	4	21	10	5	40
50歳代	3	27	2	2	34
60歳代	13	30	10	6	59
70歳代	11	26	6	1	44
80歳代以上	11	16	3	1	31
計	44	144	35	18	241

市ホームページの満足度



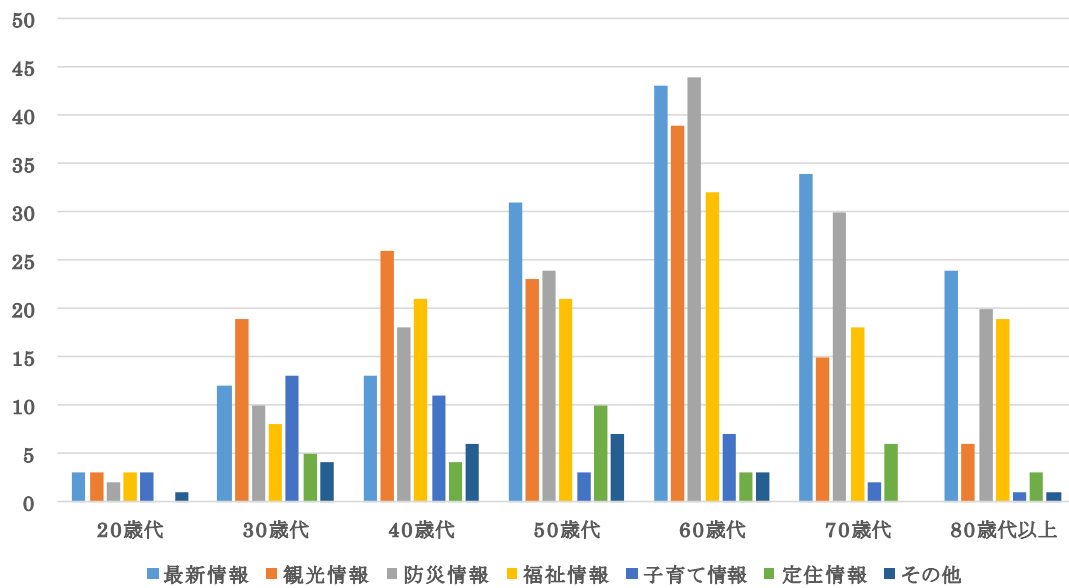
※全体で 78.0%が「満足」、「多少満足」であり、前回調査 52.6%より 25.4 ポイント増加している。

※やや不満、不満の理由としては、「検索性が悪い」、「情報が更新されない」等が挙げられる。

⑭市ホームページで知りたい情報

	最新情報	観光情報	防災情報	福祉情報	子育て情報	定住情報	その他	計
20歳代	3	3	2	3	3	0	1	15
30歳代	12	19	10	8	13	5	4	71
40歳代	13	26	18	21	11	4	6	99
50歳代	31	23	24	21	3	10	7	119
60歳代	43	39	44	32	7	3	3	171
70歳代	34	15	30	18	2	6	0	105
80歳代以上	24	6	20	19	1	3	1	74
計	160	131	148	122	40	31	22	654

市ホームページで知りたい情報



⑮市ホームページ以外で利用しているサイト

	子育てポータルサイト	定住情報サイト	これから。雲南	チャレンジサイト	企業紹介サイト	病院ホームページ	利用していない	計
20歳代	1	0	0	1	0	0	15	17
30歳代	7	1	1	1	0	7	23	40
40歳代	2	0	0	0	0	8	47	57
50歳代	1	1	0	1	0	10	59	72
60歳代	2	2	0	0	3	13	77	97
70歳代	1	2	6	2	2	10	61	84
80歳代以上	2	4	7	3	1	12	37	66
計	16	10	14	8	6	60	319	433

※全体で 73.7%の人が利用していないのは、認知度が低い。

⑯雲南アプリの利用状況

	利用している	利用していない	計
20歳代	2	15	17
30歳代	7	30	37
40歳代	6	51	57
50歳代	5	68	73
60歳代	5	94	99
70歳代	2	77	79
80歳代以上	2	55	57
計	29	390	419

※全体で 93.1%の人が利用していないのは、認知度が低い。

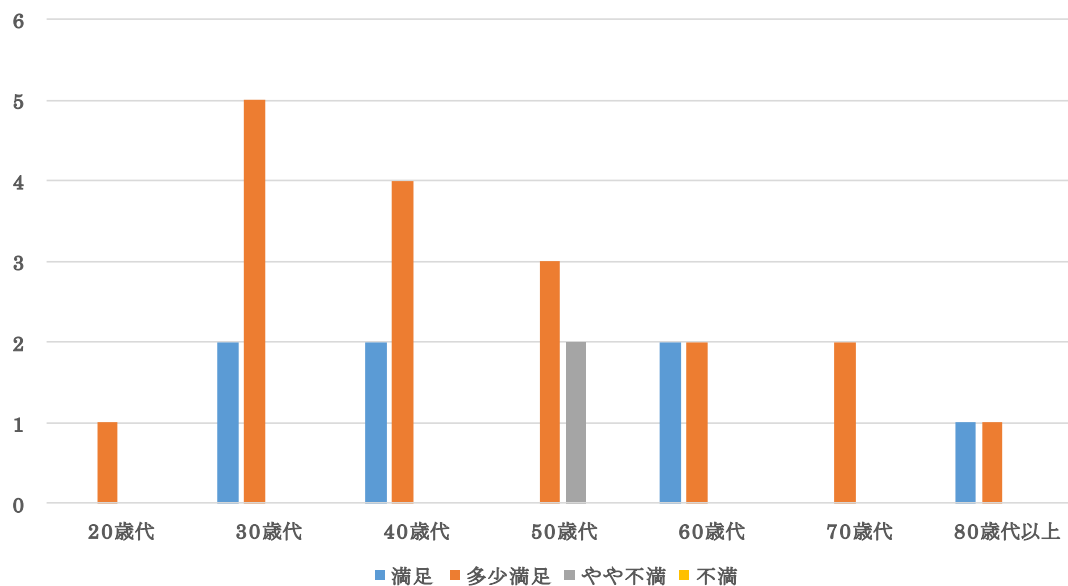
《参考》

※雲南アプリのダウンロード件数 4,508 件【令和元年 12 月 31 日】

⑰雲南アプリの満足度

	満足	多少満足	やや不満	不満	計
20歳代	0	1	0	0	1
30歳代	2	5	0	0	7
40歳代	2	4	0	0	6
50歳代	0	3	2	0	5
60歳代	2	2	0	0	4
70歳代	0	2	0	0	2
80歳代以上	1	1	0	0	2
計	7	18	2	0	27

雲南アプリの満足度

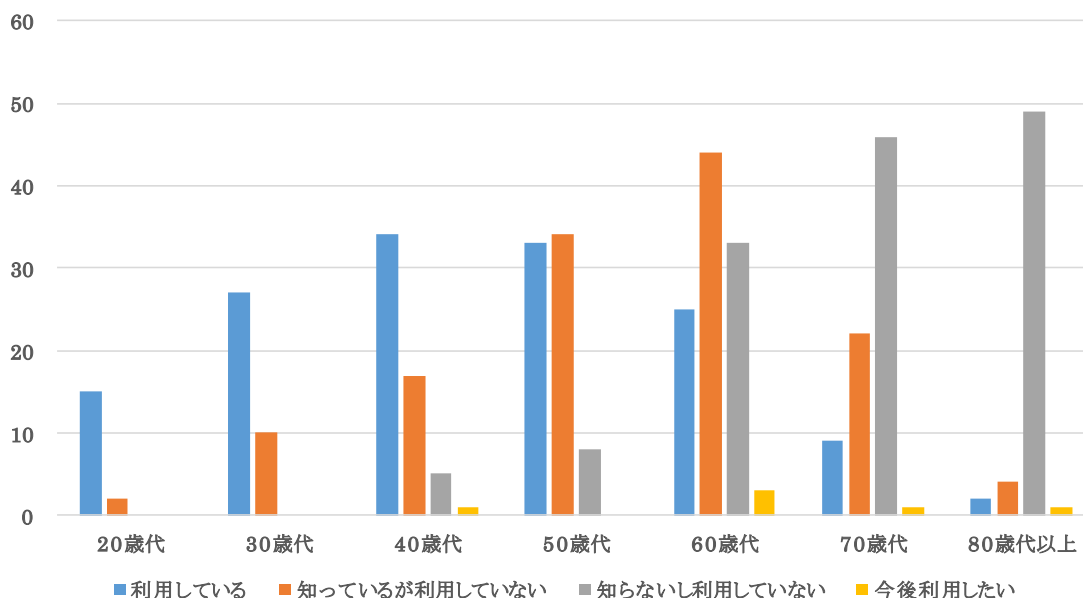


※全体の 92.6%が「満足」、「多少満足」である。

## ⑱ SNSの利用状況

	利用している	知っているが利用していない	知らないし利用していない	今後利用したい	計
20歳代	15	2	0	0	17
30歳代	27	10	0	0	37
40歳代	34	17	5	1	57
50歳代	33	34	8	0	75
60歳代	25	44	33	3	105
70歳代	9	22	46	1	78
80歳代以上	2	4	49	1	56
計	145	133	141	6	425

SNSの利用状況



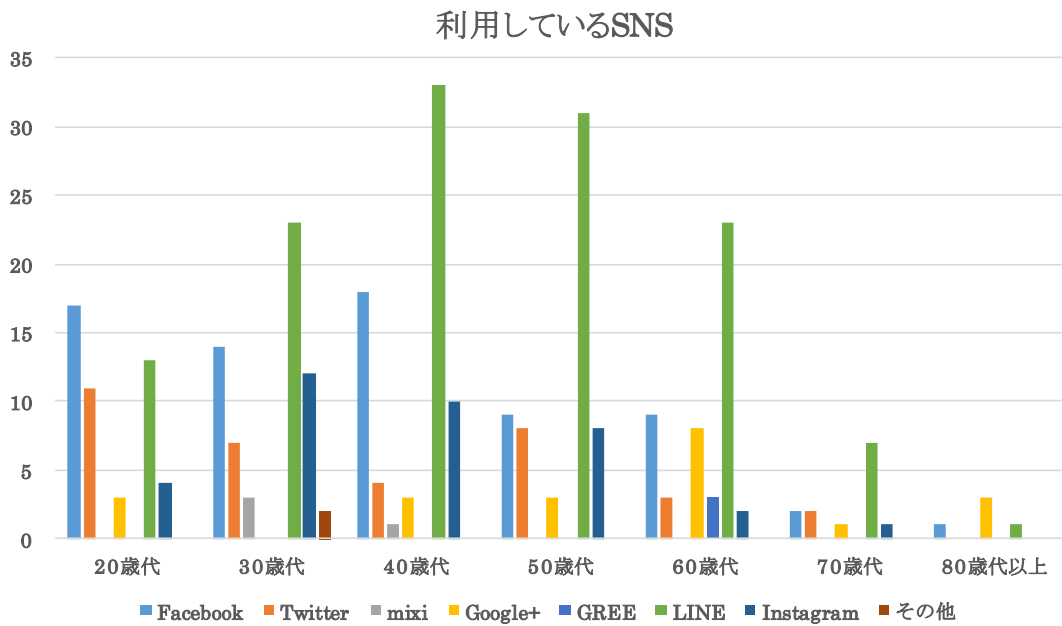
※全体で 34.1%が SNS を利用しており、前回調査 19.1%より 15.0 ポイント増加している。

※20 歳代～60 歳代は、前回調査より 13.9～27.5 ポイント増加している。また 80 歳代以上でも利用者がいる。

※全体で 33.2%が SNS を知らないし利用していない人であるが、前回調査 40.1%であり、認知度が上がってきている。

⑱利用しているSNS

	Facebook	Twitter	mixi	Google <sup>+</sup>	GREE	LINE	Instagram	その他	計
20歳代	17	11	0	3	0	13	4	0	48
30歳代	14	7	3	0	0	23	12	2	61
40歳代	18	4	1	3	0	33	10	0	69
50歳代	9	8	0	3	0	31	8	0	59
60歳代	9	3	0	8	3	23	2	0	48
70歳代	2	2	0	1	0	7	1	0	13
80歳代以上	1	0	0	3	0	1	0	0	5
計	70	35	4	21	3	131	37	2	303

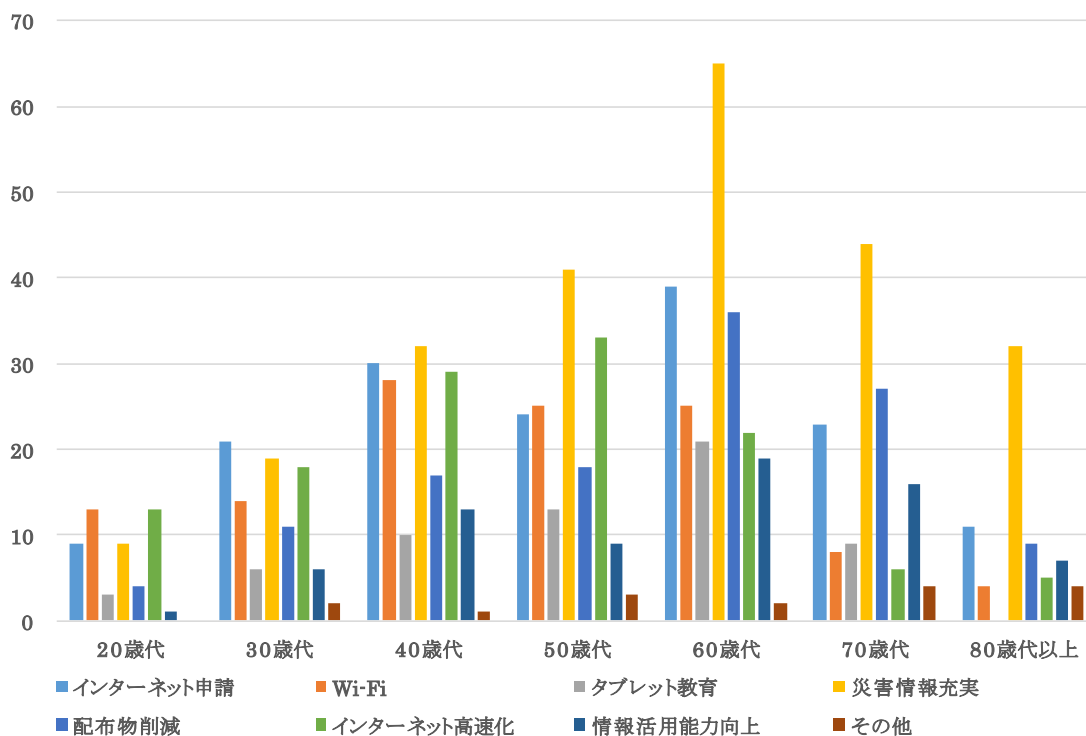


※SNS利用者のうち、LINEの利用率が43.2%であり、前回調査34.1%より9.1ポイント増加している。

⑩市が進めるべき情報化施策

	インターネット申請	Wi-Fi	タブレット教育	災害情報充実	配布物削減	インターネット高速化	情報活用能力向上	その他	計
20歳代	9	13	3	9	4	13	1	0	52
30歳代	21	14	6	19	11	18	6	2	97
40歳代	30	28	10	32	17	29	13	1	160
50歳代	24	25	13	41	18	33	9	3	166
60歳代	39	25	21	65	36	22	19	2	229
70歳代	23	8	9	44	27	6	16	4	137
80歳代以上	11	4	0	32	9	5	7	4	72
計	157	117	62	242	122	126	71	16	913

市が進めるべき情報化施策



※その他の意見として、「4K・8K 放送への対応」、「携帯電話の不感地解消」、「市内周辺部への光回線整備」等の意見があった。

※災害情報充実については 53.8%で、前回調査 48.1%より 5.7 ポイント増加している



## ○情報化に関する高校生アンケート調査結果

### 1. 調査目的

第2次雲南市情報化計画の策定に向け、計画の参考とするため市内の高校に通っている高校生のインターネット利用状況や情報の入手方法などを把握する。

### 2. 調査対象

雲南市内の大東高校及び三刀屋高校は、各学年1クラスを抽出し、三刀屋高校掛合分校は、全生徒を対象とした。

### 3. 調査時期

令和元年11月15日～令和元年11月29日

### 4. 分析結果

#### ①回答者の学年

	計
1年生	85
2年生	92
3年生	91
計	268

#### ②回答者の出身地

	雲南市	雲南市外	計
1年生	67	18	85
2年生	74	18	92
3年生	78	13	91
計	219	49	268

③市の情報などの入手手段(複数回答可)

	新聞	テレビ	雑誌	ラジオ	携帯電話	広報紙	回覧板	インターネット	市役所訪問	告知放送	その他	計
1年生	22	59	3	2	25	18	21	27	0	22	3	202
2年生	21	66	2	1	22	10	7	35	0	16	3	183
3年生	18	62	2	1	31	9	14	31	0	17	2	187
計	61	187	7	4	78	37	42	93	0	55	8	572

	1位	2位	3位
1年生	テレビ	インターネット	携帯電話
2年生	テレビ	インターネット	携帯電話
3年生	テレビ	INT・携帯電話	新聞

※市民アンケートでは、全体で「広報紙」が多いが、学生では「テレビ」が多く、年代によって入手手段が異なっている。

④情報端末の保有状況(複数回答可)

	スマホ	携帯電話	ノートPC	デスクトップPC	タブレット	その他	使用していない	計
1年生	84	10	11	3	26	0	0	134
2年生	89	1	12	4	27	0	0	133
3年生	90	3	15	0	20	2	0	130
計	263	14	38	7	73	2	0	397

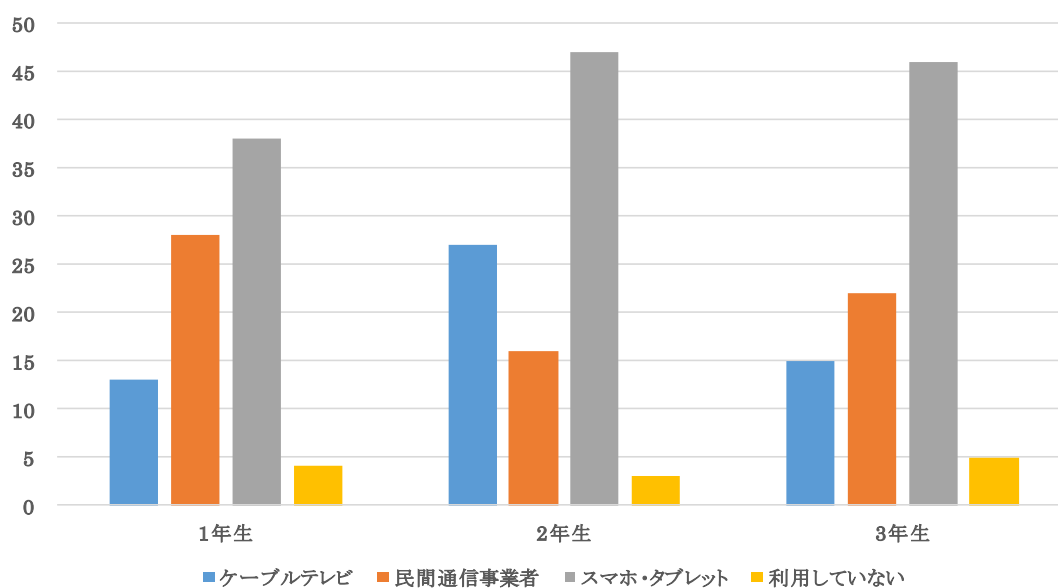
	1位	2位	3位
1年生	スマホ	タブレット	ノートPC
2年生	スマホ	タブレット	ノートPC
3年生	スマホ	タブレット	ノートPC

※ほとんどの学生がスマートフォンまたは携帯電話を保有している。

⑤ 自宅でのインターネット回線の利用状況

	ケーブルテレビ	民間通信事業者	スマホ・タブレット	利用していない	計
1年生	13	28	38	4	83
2年生	27	16	47	3	93
3年生	15	22	46	5	88
計	55	66	131	12	264

自宅でのインターネット回線の利用状況

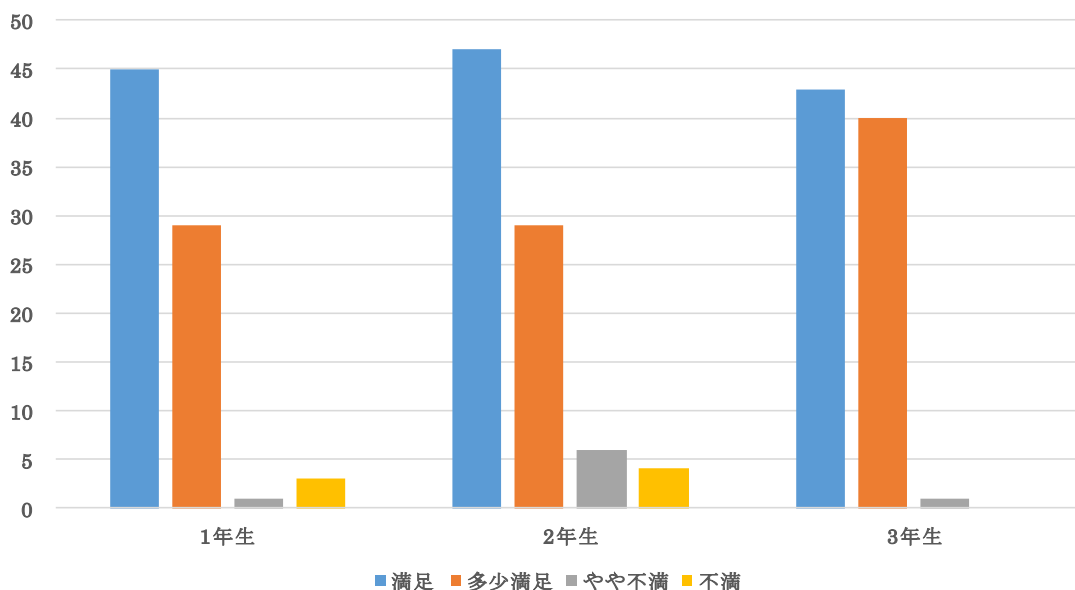


※学生の95.5%が自宅でインターネットを利用している。

### ⑥インターネット利用者の満足度

	満足	多少満足	やや不満	不満	計
1年生	45	29	1	3	78
2年生	47	29	6	4	86
3年生	43	40	1	0	84
計	135	98	8	7	248

インターネット利用者の満足度



※やや不満、不満の理由としては、「通信速度が遅い」、「携帯電話の電波がつながりにくい。つながらない。」等が挙げられる。

### ⑦雲南アプリの利用状況

	利用している	利用していない	計
1年生	0	80	80
2年生	4	89	93
3年生	0	89	89
計	4	258	262

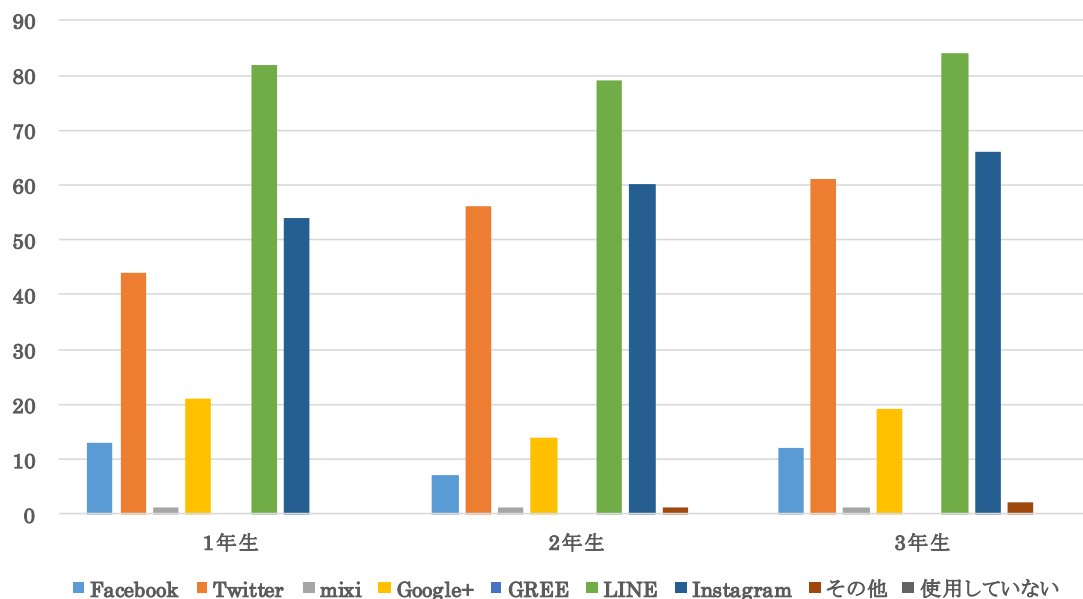
### ⑧雲南アプリの満足度

	満足	多少満足	やや不満	不満	計
1年生	0	0	0	0	0
2年生	0	4	0	0	4
3年生	0	0	0	0	0
計	0	4	0	0	4

### ⑨SNSの利用状況

	Facebook	Twitter	mixi	Google <sup>+</sup>	GREE	LINE	Instagram	その他	使用していない	計
1年生	13	44	1	21	0	82	54	0	0	215
2年生	7	56	1	14	0	79	60	1	0	218
3年生	12	61	1	19	0	84	66	2	0	245
計	32	161	3	54	0	245	180	3	0	678

SNSの利用状況



※全ての学生が何らかの SNS を利用しており、そのうち 91.4%が LINE を利用している。

※市民アンケート(20 歳代以上対象)でも「LINE」が 1 位であるが、2 位は、学生が「Instagram」、市民アンケートでは「Facebook」となっている。

### ⑩SNSへの不安度

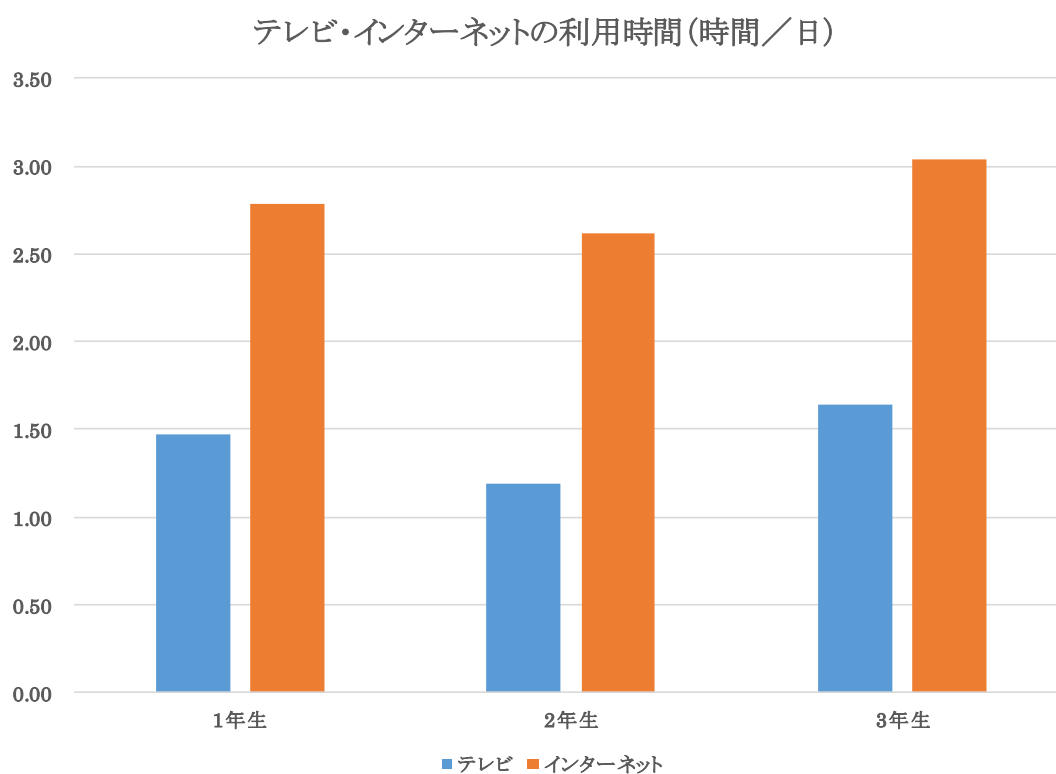
	ある	ない	計
1年生	9	76	85
2年生	12	78	90
3年生	12	79	91
計	33	233	266

※学生の 87.6%が不安もなく SNS を利用している。

※不安理由として、「個人情報」、「架空請求メール」、「ワンクリック詐欺」、「アカウントの乗っ取り」等が挙げられる。

⑪テレビ・インターネットの利用時間(時間/日)

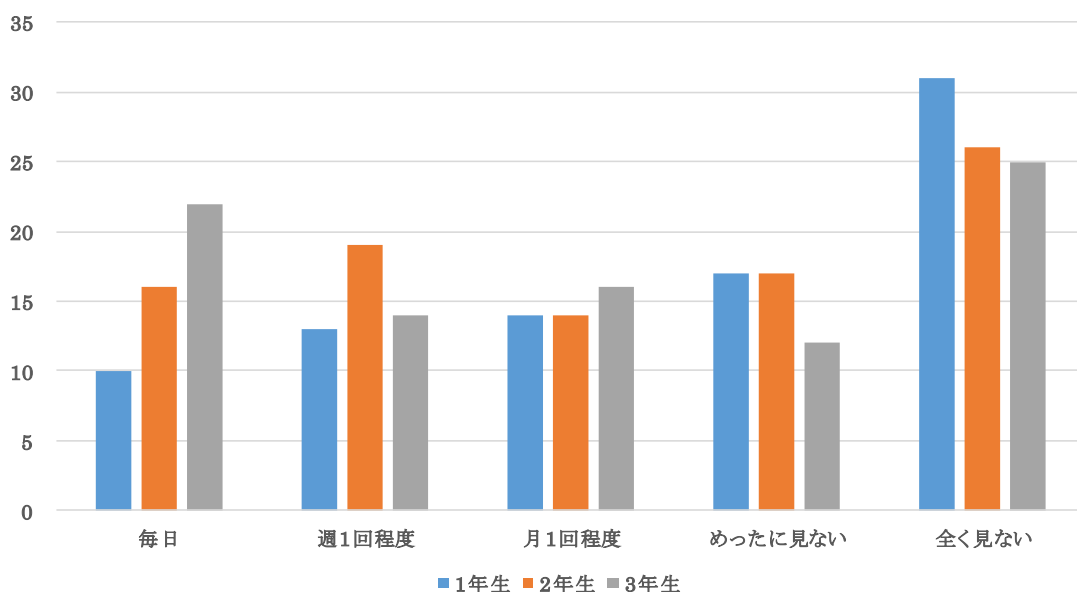
	テレビ	インターネット	計
1年生	1.47	2.79	4.26
2年生	1.19	2.62	3.81
3年生	1.64	3.04	4.68
平均	1.43	2.82	4.25



⑫ケーブルテレビの視聴頻度

	毎日	週1回程度	月1回程度	めったに見ない	全く見ない	計
1年生	10	13	14	17	31	85
2年生	16	19	14	17	26	92
3年生	22	14	16	12	25	89
計	48	46	44	46	82	266

ケーブルテレビの視聴頻度



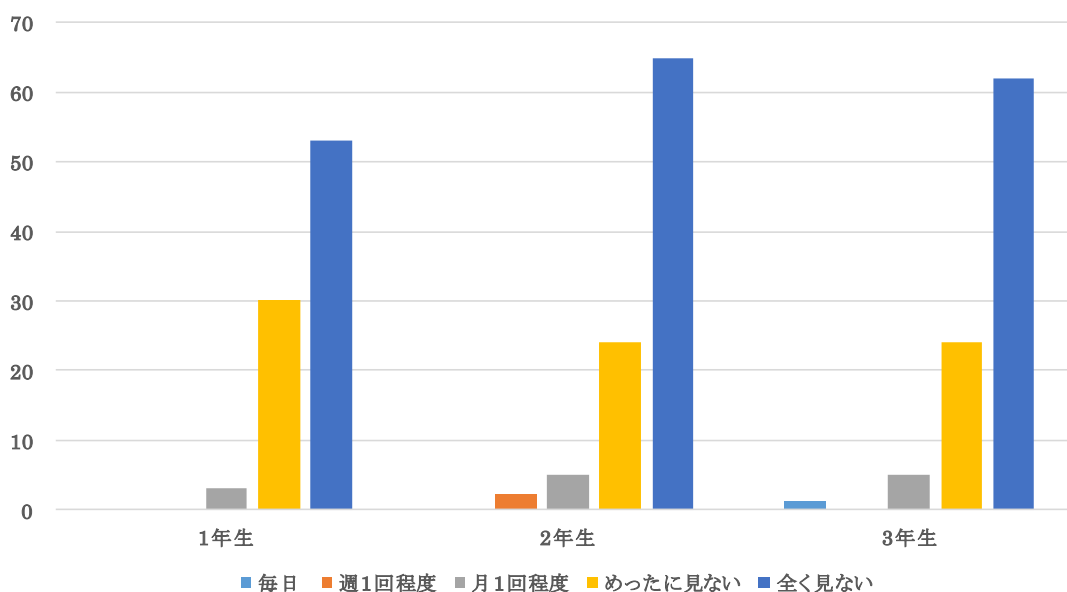
※学生の 51.9%が定期的にケーブルテレビを視聴している。

※自主放送番組で高校生青春テレビ「アオハルうんなん」が放送されている影響もある。

⑬市ホームページの閲覧頻度

	毎日	週1回程度	月1回程度	めったに見ない	全く見ない	計
1年生	0	0	3	30	53	86
2年生	0	2	5	24	65	96
3年生	1	0	5	24	62	92
計	1	2	13	78	180	274

市ホームページの閲覧頻度



⑭市ホームページ以外で利用しているサイト

	子育てポータルサイト	定住情報サイト	これから。雲南	チャレンジサイト	企業紹介サイト	病院ホームページ	利用していない	計
1年生	0	0	0	1	0	0	81	82
2年生	1	1	0	3	2	2	82	91
3年生	0	0	0	0	0	1	84	85
計	1	1	0	4	2	3	247	258

⑮学生が高校卒業後、雲南市に住み続けるために望むこと

- ・インターネットの高速化
- ・Free Wi-Fi の整備
- ・携帯電話の不感地解消
- ・テレビチャンネルの充実 等



○用語解説

索引	用語	解説
あ	ICT	情報やデータを伝達する技術のこと。「IT」（情報技術）に「C」（通信）を組み合わせた表現であり、「IT」とほぼ同じ意味で用いる。
	IT	情報技術のこと。コンピュータを核にしたハードウェア、ソフトウェア、通信などの技術を指す。情報関連産業をIT産業とも呼ぶ。
	IoT	モノのインターネット。モノがインターネット経由で通信すること。
	IP 電話	インターネットプロトコルという通信方法を利用した電話サービスのこと。インターネットに接続して音声が届ける通話方法。
	アクセシビリティ	情報やサービスに対するアクセスのしやすさ。Web サイトのアクセシビリティでは、心身の機能に制約のある人を含め、誰に対しても Web サイトが提供する情報がきちんと伝わることを求められる。
	RPA	ロボティック・プロセス・オートメーションの略称で、ロボットによる業務自動化をするシステム。
	アプリ	アプリケーションの略称で、スマートフォンや Web サービスなどで利用できるソフトウェアの総称。
い	イノベーション	技術革新のこと。全く新しい製品やサービスを生み出すこと。
う	Uber	米国の Uber Technologies Inc. が運営するオンライン配車サービス。専属ドライバーではなく一般の提携ドライバーをマッチングして手配する「ライドシェア」の代表的サービスとして知られる。
	雲南ソーシャルチャレンジバレー	世界の ICT 分野の最先端を走るアメリカのソーシャルシリコンバレー（ICT の一大拠点）のように雲南市が社会課題を解決する「ソーシャルチャレンジ」の最先端を走ることをめざすもの。
え	AI	人工知能のこと。コンピュータに人間と同様の知能を実現させようという試み、あるいはそのための基礎技術をさす。

	Airbnb	世界中に空き部屋やスペースなどを持っていて、それを提供してくれる方と宿泊施設を探している旅行客をつなげるプラットフォームを提供している Web サービス。
	SNS	参加者同士のコミュニケーションを主目的にした Web サービス。交流サイトとも呼ぶ。
	SDGs	持続可能な開発目標のこと。2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標。
	FTTH	光ファイバーによる家庭向けのデータ通信サービスのこと。
お	オープンデータ	オープンデータとは、何らかの権利に基づく制限を課されることなく、誰でも自由に入手、加工、利用、再配布などすることができるよう公開されたデータ。コンピュータプログラム（のソースコード）を制限なく公開する「オープンソース」(open source) の考え方をデータに適用したもの。科学技術などの分野で大学や研究機関の持つデータが公開されているほか、行政や公的機関が収集・作成した統計データなどの公開が進められている。
か	GAF A	グーグル(Google)、アップル(Apple)、フェイスブック(Facebook)、アマゾン(Amazon)の4社のこと。頭文字を取って称される。
く	クラウドコンピューティング	インターネット経由で提供されるコンピュータ資源やサービスを利用することで、さまざまな処理や機能を実現すること。そのための環境やサービス全般も指す。単にクラウドともいう。
さ	サテライトオフィス	企業が本社から離れたところに設置したオフィスのこと。オフィス環境は、本拠点と同じように業務ができること、本拠点と同じように通信機能が備わっていることが条件。
	サーベイランス	注意深く監視すること。
し	シェアリングエコノミー	物・サービス・場所などを、多くの人と共有・交換して利用する社会的な仕組み。

せ	セキュリティポリシー	セキュリティに関するそれぞれの方針や決まりごとをまとめたもの。
そ	Society 5.0	サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会をさすもので、第5期科学技術基本計画において我が国がめざすべき未来社会の姿として提唱された。
て	デジタル・ディバイド	情報技術を利用できる人とできない人との間に生じる入手可能な情報の量や質の格差のこと。情報化が生む待遇や貧富の格差を指す場合もある。情報格差とも呼ぶ。パソコンやインターネットなど、情報機器やサービスを利用する能力の差によって、就職の機会や収入に差が生じることなどが、社会問題として認識される。
	テレワーク	情報通信の機器やサービスを活用することで、場所や時間の制約を受けずに働く形態をさす。
は	8K（8K/4K）	横約8000×縦約4000ドットの高画素数/高解像度の映像データおよび表示装置。「K」は1000を意味する単位の接頭辞「キロ」（Kilo）の頭文字で、8Kは8000、4Kは4000の意。フルHD（1920×1080）の約16倍、4K/2K（横4000ドット前後）の約4倍の画素数にあたる。正確な画素数は7680×4320（縦横比16:9）、8192×4320（256:135）などいくつかの種類がある。
ひ	bps	通信回線などのデータ伝送速度の単位で、1秒間に何ビットのデータを送れるかを表す。1bpsは1秒間に1ビットのデータを伝送できることを表す。
	光ファイバー	光通信の伝送路として用いる直径0.1mmほどのガラス繊維。中心部（コア）の屈折率を周縁部（クラッド）よりも高くした二重構造になる。光がコアとクラッドの境界面で全反射するので、ファイバーが曲がった状態でも光の損失が極めて少なく、増幅器無しで遠距離通信を実現する。銅線を用いた通信に比べると、ケーブル1本当たり約1,000倍もの情報を送信できる。電波障害の影響も受けにくい。

	ビッグデータ	大規模データのこと。クラウドコンピューティングの進展などによって、Web や企業内で急速に増大する各種の大規模なデータをさす。
ふ	5G	第 5 世代移動通信システムの略称で、携帯電話などの通信に用いられる次世代通信規格のひとつ。G とは「Generation」の頭文字をとったものであり、5 世代目であることを表している。
	Facebook	世界最大のソーシャルネットワーキングシステム (SNS)。
	ブロードバンド	高速で大容量の情報が送受信できる通信網。ケーブルテレビの回線や光ファイバーなどを利用する。広帯域通信網。
ゆ	YouTube	世界最大の動画共有サービス。
よ	4K (4K/2K)	4000×2000 ドット前後の超高精細映像を実現する画面解像度の通称。K は 1000 を意味する。1920×1080 ドットであるフル HD サイズの約 4 倍になる。2011 年末から一般向けの製品が登場した。ハイビジョン放送は最大解像度が 1920×1080 ドットなので、4000×2000 ドット前後の表示機器だと、1 ドット分の情報を約 4 ドットの画素で表示する。その際に情報を補正して輪郭を滑らかにした映像にする。
り	リテラシー	読み書きの能力のこと。コンピュータなど情報機器全般を使いこなす能力のことを情報リテラシーと呼ぶ。
わ	Wi-Fi	パソコンや、スマートフォン、タブレット、ゲーム機などのネットワーク接続に対応した機器を無線で LAN に接続する技術のこと。